

るもいの未来図を実現する

第10期実施計画

[2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）]



留 萌 市

実施計画の概要

1 計画策定の趣旨

実施計画は、総合計画戦略プログラム（後期基本計画）において掲げた各施策（心意気）単位毎に、後期5年間（2012年度から2016年度）の「目指す姿」や「成果指標による達成目標」に近づけるため、3年の期間でいくらの経費をかけ、具体的にどのような手段（事務事業）を実施して実現（達成）を目指していくのかを明らかにするために策定するものです。

第10期実施計画については、後期5年間の最終年であるH28年度からH30年度までの3ヵ年実施計画であります。総合計画で掲げた基本理念や目標達成に向け、重点分野に沿った真に緊急性が高く、地域の経済・雇用や観光・感動に繋げるとともに、「留萌の魅力」を高める事業を最優先として、計上したところであります。

2 計画期間

計画期間は、2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）の3ヵ年とし、毎年度ローリング（部分的な見直し）を行います。

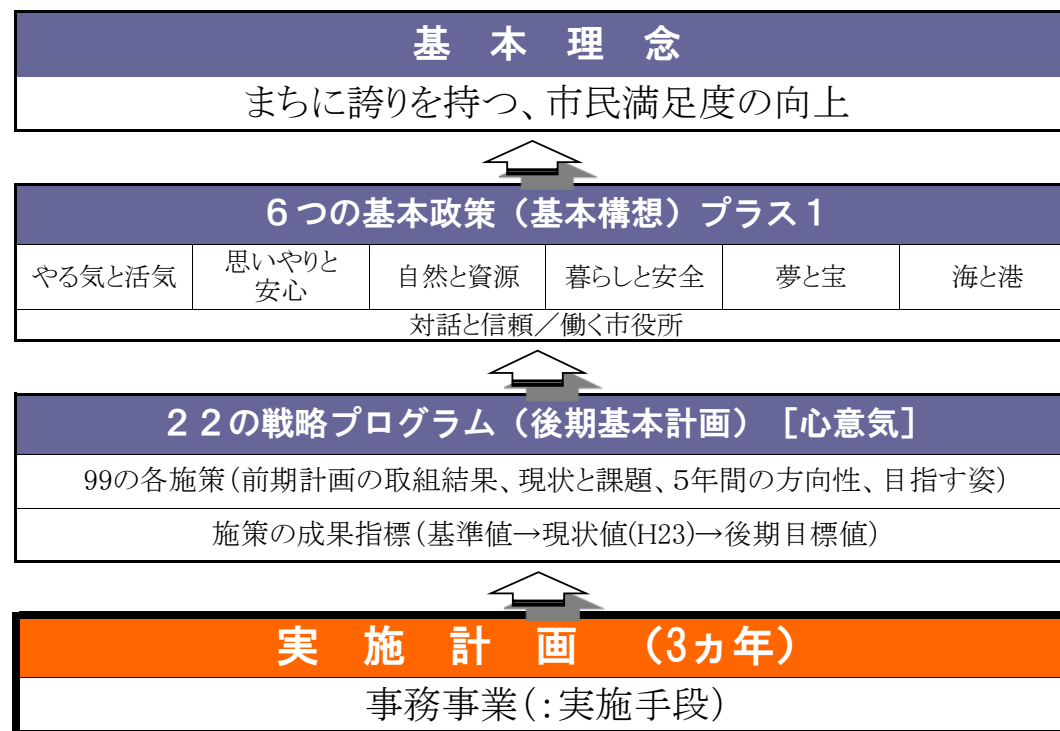
3 計画の構成

総合計画における「基本理念」のもと、「6つの基本政策（基本構想）プラス1」「22の戦略プログラム（基本計画）」「施策」「事務事業」を体系付け、目的（目標値）と手段（事務事業）の関係を明らかにしています。

4 ローリングについて

ローリングは、各課において毎年度実施する施策評価及び事務事業評価に基づき、部分的な改定を行います。この改定作業については、基本的には目標値の見直しは行わず、目標達成のための手段（事務事業）の見直しを行います。

今後も目標達成に向けて、限られた予算の中で、重点分野に沿った効率的・効果的な事業の採択に配慮していきます。

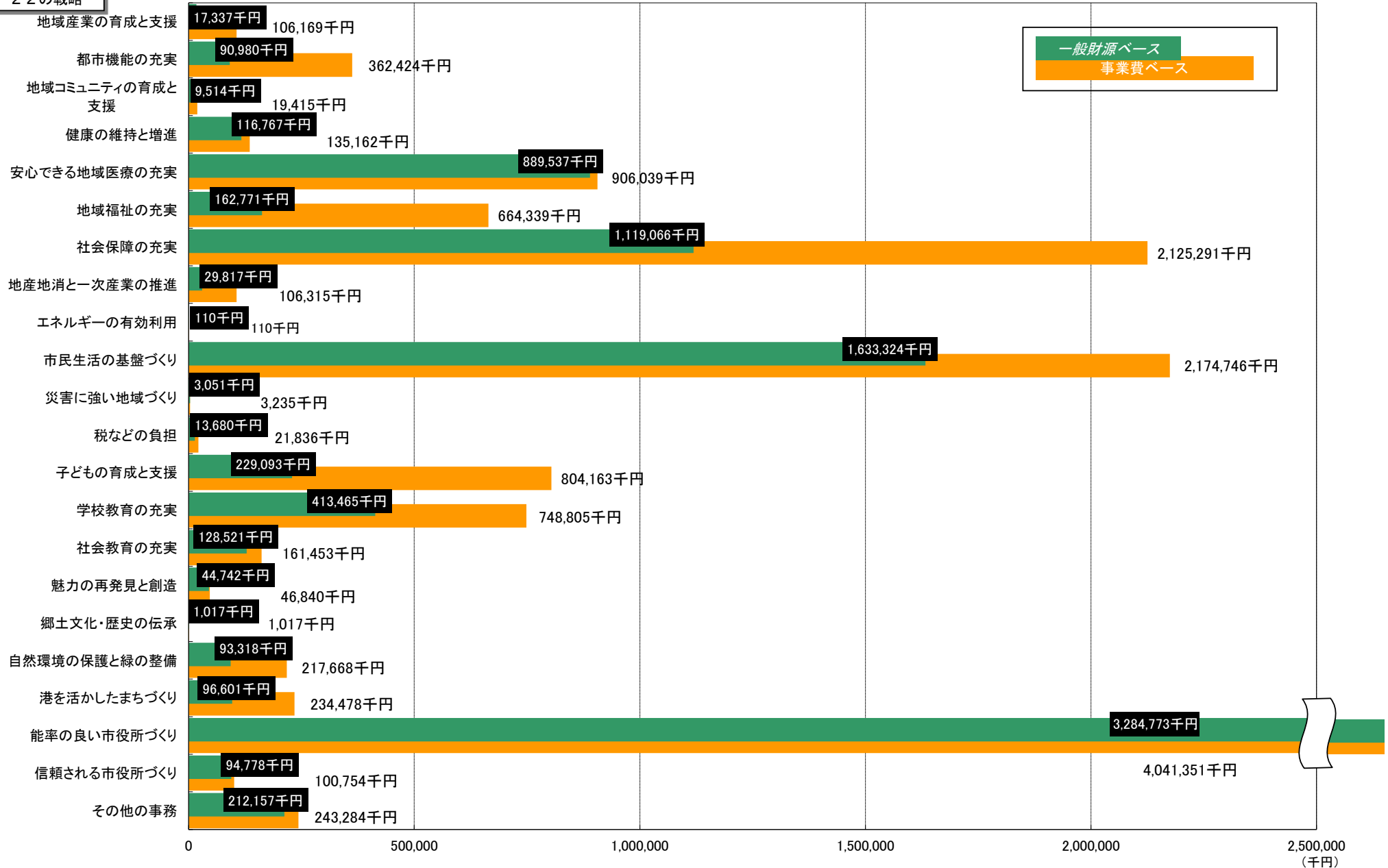


5 進行管理について

毎年度各所管が実施する施策評価や事務事業評価において、市民満足度アンケート結果等も踏まえ、実施計画に掲げた事務事業が施策の目的や目標値を達成する手段として適正か、効率的に執行されているかなどの視点で検証していきます。これによって、各所管における事務事業の見直しや新規事業の検討、現状と目標との乖離状況の分析結果等を通じて、政策調整課が基本計画、実施計画の一括進行管理を行い、次年度以降の重点分野の検討や事業の見直しなどに繋げていきます。

平成28年度予算戦略プログラム「心意気」別配分状況（一般会計）

22の戦略



第5次留萌市総合計画－第10期実施計画（平成28年度～平成30年度）目次

施策No	22の心意気	分類No	施策分類	P
1	地域産業の育成と支援	001	新産業・起業	1
		002	中小企業	
		003	雇用・労働	
		004	地場産品・水産加工	
		005	商店街	
2	都市機能の充実	006	都市計画・再開発・路外駐車場・国土利用	4
		007	地籍調査・住居表示・町名及び町界	
		008	都市景観・屋外広告物	
		009	中心市街地	
		010	道路・橋りょう	7
3	地域コミュニティの育成と支援	011	市民活動	
		012	男女共同参画	
		013	審議会・委員会	
		014	町内会	
		015	コミュニティセンター・町内会館	
		016	集会施設	10
4	健康の維持と増進	017	健康・保健予防	
5	安心できる地域医療の充実	018	地域医療	12
		019	地域センター病院	
6	地域福祉の充実	020	地域福祉	14
		021	高齢者	
		022	障がい者	
7	社会保障の充実	023	国民健康保険	17
		024	後期高齢者医療	
		025	医療費助成	
		026	ひとり親・寡婦・助産	
		027	年金	
		028	生活保護	
		029	介護保険・介護予防	
8	地産地消と一次産業の推進	030	農業	20
		031	林業	
		032	漁業	
		033	地産地消	
9	エネルギーの有効利用	034	省エネルギー・新エネルギー	24
10	市民生活の基盤づくり	035	生活環境	25
		036	消費生活	
		037	し尿処理	
		038	火葬場	
		039	墓地	
		040	上水道	
		041	下水道	
		042	浄化槽	
		043	河川・ダム	
		044	除雪	
		045	市営住宅	
		046	火災・救急救命	
		047	防犯	
		048	交通安全	
		049	ごみ・一般廃棄物	
11	災害に強い地域づくり	050	防災	33
12	税などの負担	051	税・税外収入	35

施策No	22の心意気	分類No	施策分類	P
13	子どもの育成と支援	052	子ども未来・少子化対策	36
		053	保育園	
		054	幼稚園	
		055	幼児療育通園センター	
		056	青少年・健全育成	
14	学校教育の充実	057	学校施設	40
		058	学校教育	
		059	学校給食	
15	社会教育の充実	060	社会教育	43
		061	芸術・文化	
		062	スポーツ	
		063	社会教育施設	
16	魅力の再発見と創造	064	観光・イベント	46
		065	国際交流	48
17	郷土文化・歴史の伝承	066	郷土文化・歴史	
		067	文化財	50
18	自然環境の保護と緑の整備	068	公園・緑地	
		069	花・街路樹	
19	港を活かしたまちづくり	070	留萌港	52
		071	貿易	
20	能率の良い市役所づくり	072	都市経営	54
		073	地域振興	
		074	統計調査	
		075	広域行政	
		076	財政	
		077	人事	
		078	人材育成	
		079	財産管理	
		080	契約	
		081	車両管理	
21	信頼される市役所づくり	082	窓口	59
		083	広報広聴	
		084	請願・陳情及び不服申し立て	
		085	情報化	
22	その他の事務	086	教育委員会	61
		087	選挙管理委員会	
		088	監査	
		089	議会	
		090	会計	
		091	平和	
		092	褒章	
		093	表彰	
		094	恩給	
		095	公平委員会	
		096	庁舎管理	
		097	秘書	
		098	住基・戸籍	
		099	その他の事務	

【心意気1】地域産業の育成と支援

施策に要する全体経費 (一般会計:3ヵ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	106,169千円		99,319千円		99,318千円	
	17,337千円		16,487千円		16,486千円	

内容	- 我が国の経済が、「右肩上がり」から「安定成長」の時代に移行し、これまで公共依存の強かった北海道は、特に地域経済の自立が求められています。 - そうした経済社会の環境変化のなか、まちに活気を取り戻し、市民が安定した生活基盤を築くためにも、地域経済の活性化や雇用の創出は不可欠です。 - そのため、地域産業の育成を目指し、起業や企業化などを支援し、留萌らしい産業を創り出し、雇用を生み出すことで、地域経済の活性化と経済的に安定した生活の確立を目指します。
----	---

目的	■ 地域産業が元気で、地域経済が活発なまちにすること ■ 新しい雇用をつくり出し、市民の経済生活が安定したまちにすること
----	--

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値	
1	産業分類総所得の総額	億円	343.8	274.6	→(286.5)	
2	空き店舗率	%	10.4	13.3	↘(23.3)	
3	小売業の売り場面積当たりの年間販売額	千円/㎡	726	777	↗(777)	※商業統計（3年毎）
4	生産年齢人口に対する就業人口の割合【基本構想指標】	%	76.3	70.2	→(76.3)	
5	製造品等出荷額【基本構想指標】	億円	235.4	129.9	→(235.4)	
6	商品販売額【基本構想指標】	億円	813.8	368.0	→(813.8)	※商業統計（3年毎）
7	商店街の魅力に対する満足度	%	12.0	2.7	10.0	
8	地域産業への育成や支援に対する満足度	%	6.9	26.4	47.1	
9	水産加工品生産量	トン	10,696	10,037	↗(10,696)	

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3ヵ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
001	新産業・起業	●地元企業や商店の廃業が相次ぐなど、地域経済の低迷は底が見えない状況となっており、何らかの形で地域活性化の足がかりが必要です。	●地域の特色を活かした新たな産業が創出され、起業や新たな事業展開が徐々に生まれてきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	経済振興対策事業	710	710	0	0	0	0		経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
002	中小企業	●各助成事業に関しては、中小企業者への効果は大きいと思われるが、中小企業特別融資は、金融商品の多様化により利用率が減少傾向にあります。	●市内の企業や商店が、地域の知恵を引き出し、経営も安定し、活力に満ちた経済活動が定着してきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	商工行政統括事業	246	216	246	216	246	216		経済港湾課
02	継	中小企業振興助成金	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973		経済港湾課
03	継	小規模事業指導推進費補助金	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000		経済港湾課
04	継	中小企業特別融資保証料補給金	51	51	51	51	50	50		経済港湾課
05	継	中小企業特別融資貸付金	80,000	0	80,000	0	80,000	0		経済港湾課
06	継	住宅改修促進助成事業	6,010	10	0	0	0	0	※ 過疎	経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
003	雇用・労働	●国の緊急雇用対策事業により雇用創出が一時的に図られてきたが、事業終了に伴い、新たな国の制度の活用等を検討していく必要がありその後の継続した雇用とならないケースが多くなっています。 ●新卒者など若年者の就職が非常に厳しい状況となっており、若者の都市部流出に歯止めをかけることができていません。	●産業の発展を支える様々な担い手が育成され、雇用の受け皿も増えるなど雇用条件も改善され、市内の雇用が安定してきています。 ●失業や非正規雇用など様々な事情を抱えた人々が、就労に積極的にチャレンジできる環境が徐々に整ってきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	労働行政統括事業	6,115	6,115	6,115	6,115	6,115	6,115		経済港湾課
02	継	労働問題相談実態調査委託料	335	335	335	335	335	335		経済港湾課
03	継	勤労者生活資金等貸付金	1,600	0	1,600	0	1,600	0		経済港湾課
04	継	南留萌地域通年雇用促進協議会負担金	480	480	480	480	480	480		経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
004	地場産品・水産加工	●地元資源を活用した消費者ニーズにあった商品開発に向けた取組については、安定的な原料の確保が課題となっています。 ●水産加工業の主力商品である「カズノコ」の消費低迷が課題となっています。	●地元資源を活用し、消費者ニーズにマッチした地域ブランドが育ってきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	加工振興事業	17	17	17	17	17	17		農林水産課
02	継	水産加工業振興事業補助金	300	300	300	300	300	300		農林水産課
03	継	水産加工実習生支援事業(宿舍借上料)	1,202	0	1,202	0	1,202	0		農林水産課
04	継	サハリン経済交流促進協議会負担金	130	130	0	0	0	0		経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
005	商店街	●郊外大型店の進出や商店街大型商業施設の撤退など、商店街を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。	●空き店舗の活用など事業者の創意工夫により、中心市街地の商店街に交流とにぎわいが戻ってきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	商店街振興組合連合会振興対策事業費補助金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		経済港湾課

【心意気2】都市機能の充実

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	362,424千円		268,542千円		153,842千円	
	90,980千円		79,164千円		79,164千円	

内容	- 市街地が徐々に広がるとともに中心市街地が空洞化する中で、少子化、高齢化、人口減少時代への対応も考慮し、まちの機能を見直す必要があります。 - これからは、自然や資源、地域の歴史・文化を守り、市街地の拡大を抑え、美しく持続可能で、人と人がふれあえるまちを目指す、「コンパクトシティ」の発想を取り入れなければなりません。 - 毎日の暮らしの中で季節やうるおいを感じ、心身ともに健康で豊かに暮らすため、自然と共生し、郊外にゆとりの空間を保ちながら、まちなかの活力やにぎわいを持続できる都市空間の実現を目指します。 - また、これまでに整備した都市環境を活かし、高齢者や子どもたちが、歩いて日常生活ができるような効率的で、便利な都市機能の充実を目指します。
----	---

目的	■自然とまちなかの調和のとれたまちにすること ■活力とにぎわいを持続できるまちにすること ■効率性と利便性の高いまちにすること
----	---

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
10	中心市街地における居住人口の割合	%	10.8	11	↗(10.8)
11	まちの景観に対する満足度	%	64.5	46.7	71.0
12	まちの機能に対する満足度	%	5.5	25	15.0
13	中心部のにぎわいや、商業・サービス機能などに対する満足度	%	2.0	3.7	7.5

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
006	都市計画・再開発・路外駐車場・国土利用	●都市計画については、中心市街地の空洞化が進み、大型店舗が郊外に進出している状況であり、中心市街地における都市機能の集積や居住人口の増加など「コンパクトなまちづくり」が求められています。	●中心市街地の活性化と都市の快適性、利便性の向上を目指しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	都市計画行政統括事業(建築行政)	87	87	87	87	87	87		建築住宅課
02	継	建築行政統括事業	285	0	285	0	285	0		建築住宅課
03	新	耐震改修促進計画策定事業	4,050	2,025	0	0	0	0		建築住宅課
04	継	駐車場管理事業	581	113	581	113	581	113		都市整備課
05	継	土地利用規制等対策事業	45	0	45	0	45	0		政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
007	地籍調査・住居表示・町名及び町界	●地籍調査は、単年度5,000万円以下の事業費で実施していますが、総体事業費(25億円)換算で50年の事業期間を要するため、今後必要となる区域を絞り込んで実施する必要があります。 ●住居表示については、事業進捗率が20%に満たないため、従来の地番による住所と住居表示による住所が混在していることが課題です。	●千鳥町、元川町の調査が完了し、他の人口集中地区の実施を進めています。 ●わかりやすい街並みになり、市民満足度が向上しています。 ●字名の更正は山地・農用地が多いことから、それほど進んでいないと思われるが、着実に進めています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	地籍調査事業	29,314	7,434	29,314	7,434	29,314	7,434		地籍調査室
02	継	住居表示整備事業	12	12	12	12	12	12		建築住宅課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
008	都市景観・屋外広告物	●個々の商店が設置する看板等の明確な規制基準がないため、具体的な規制が難しい状況です。 ●建物の建築や改修などの費用負担があるものについては、景観整備助成金を活用して景観形成が進みましたが、新たな住居整備が進まない空き地も発生しております。	●市民のまちなみ景観に対する意識が向上し、少しずつ調和のある景観形成が行われ、留萌らしい風景が広がっています。 ●不快な広告物がない、清潔感のある街路空間を目指しています。

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
009	中心市街地	●まちの拡散化、郊外型大型店の進出による中心市街地の空洞化に対処していくためにも、まちなかの賑わい創出や交流人口の増加が課題です。	●中心市街地がまちの拠点としてにぎわい、市民(消費者)の満足度も高まり、活気が戻ってきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	まちなか賑わい広場運営管理事業	8,410	8,410	0	0	0	0		経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
010	道路・橋りょう	●既存市道は、幹線道路はもちろん交通量の少ない生活道路においても老朽化による損傷が多くなってきており、第3次道路整備5箇年計画による優先順位の見直しにより、幹線道路の計画的な整備、災害時の避難路の確保、損傷の著しい箇所維持補修が必要です。 ●橋りょうは、長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持・修繕を行っていく必要があります。	●市内幹線道路のネットワークの整備が進み、都市機能が向上しています。 ●幹線道路の整備が計画的に進むとともに、生活道路の補修が適切に行われ、道路機能を維持しています。 ●既存橋りょうの延命長寿命化を図るため、点検診断に基づく補修・改修整備を進めています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	土木行政統括事業	1,547	1,547	1,547	1,547	1,547	1,547		都市整備課
02	継	道路橋りょう統括事業	3,315	3,315	3,315	3,315	3,315	3,315		都市整備課
03	継	車両センター管理事業	1,098	1,098	1,098	1,098	1,098	1,098		都市整備課
04	継	市道管理事業	54,554	54,554	54,554	54,554	54,554	54,554		都市整備課
05	継	公用車管理事業	2,004	2,004	2,004	2,004	2,004	2,004		都市整備課
06	継	地方道路等整備事業	40,000	4,000	40,000	4,000	40,000	4,000		都市整備課
07	継	西５号通り整備事業	95,122	81	0	0	0	0	※ 過疎	都市整備課
08	継	千鳥１号通り整備事業	41,700	0	59,000	0	0	0	※ 過疎	都市整備課
09	継	橋梁長寿命化事業	70,300	0	55,700	0	0	0	※ 過疎 ※ 公共施設整備基金充当	都市整備課
10	継	豪雨対策排水清掃委託料	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		都市整備課
11	継	道路ストック整備事業	5,000	1,300	16,000	0	16,000	0		都市整備課

【心意気3】地域コミュニティの育成と支援

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	19,415千円		17,915千円		17,915千円	
	9,514千円		8,014千円		8,014千円	

内容	・隣近所とのつきあいや市民相互の日常的な関わり合いの意識が薄くなっています。 ・町内会やサークル、ボランティア活動など、個人的な利害を超えた市民相互の日常的なつきあいの大切さを再確認し、思いやりやぬくもりのあるコミュニティを再生する必要があります。 ・そのため、市民活動や町内会、女性の社会参画など地域コミュニティの育成に努めます。
----	--

目的	■思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること ■市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること
----	--

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
14	委員会・付属機関参加者の女性構成比率	%	32.7	33.7	50.0
15	町内会加入率【基本構想指標】	%	83.2	78.3	90.0
16	地域コミュニティの育成や支援に対する満足度	%	17.4	17.9	34.0
17	市民のまちづくり活動への参加機会に対する満足度	%	9.4	20.9	34.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
011	市民活動	●一向に経済状況が好転しないため、団体やボランティアの活動が厳しい状況にあります。 ●協働の必要性がより一層高まっており、今後も市と町内会や各種団体との情報交換・連携の場づくりが重要となってきます。	●市民活動やボランティアが市民全体に浸透・定着し、市民活動団体等は安定した団体の運営がなされ、主体性を持ってまちづくりに取り組み、互いに協力・連携しながら活動を進めています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	市民活動振興助成金	600	0	600	0	600	0	※ 市民活動振興基金充当	政策調整課
02	継	市民活動振興基金積立金	1	0	1	0	1	0		政策調整課
03	継	市民相談事業	130	130	130	130	130	130		市民課
04	新	無料法律相談事業	360	360	360	360	360	360		市民課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
012	男女共同参画	●女性の就労については雇用状況がきびしく、希望の職種につきにくいという現状があり、民間企業への啓発活動の推進が課題となっています。	●男女が個人として尊重され、家庭、地域、職場などあらゆる分野に参加しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	女性行政推進事業	150	150	150	150	150	150		政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
013	審議会・委員会	●実際のところ、できるだけ多くの市民の方々から市政への意見反映できるよう、募集方法や周知方法を工夫してきたものの、結果的には自ら応募する市民は少ない状況にあります。 ●今後は、さらに市政への市民の参加意識を高めるとともに、参加しやすい環境をつくっていく取り組みが必要です。	●個人からの応募をはじめ、町内会や各種まちづくり団体からの委員推薦も活発となり、多くの市民が各種審議会において市政への意見を反映しています。 ●市政に対する市民の満足度も向上し、自治意識が育っています。

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
014	町内会	●各町内会とも役員の高齢化やなり手が不足し、無関心化が進み、組織が脆弱傾向にあります。 ●町内会加入率は低迷しており、未加入世帯(者)や転入世帯(者)への働きかけなど、市と町内会が未加入者対策を講じることが求められています。	●地域コミュニティの核である町内会・自治会が自治の担い手として確立し、地域の課題を自らの知恵や行動により解決に向け前進しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	町内会活動推進事業	182	182	182	182	182	182		政策調整課
02	継	住民組織運営助成金	9,344	44	9,344	44	9,344	44	※ 過疎	政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
015	コミュニティセンター・町内会館	●利用者数の減少による使用料収入の減や市からの委託料の削減により苦しい運営状況が続き、必要最低限の管理・運営となっている運営協議会が多数です。 ●同じような時期に施設が建設されており、改築・修繕の時期も重なるため、計画的な改修が必要です。	●地域住民の拠点施設として確立され、コミュニティ活動や世代間交流も活発になっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	コミュニティセンター管理事業	6,977	6,977	6,977	6,977	6,977	6,977		政策調整課
02	継	住民センター管理事業	171	171	171	171	171	171		政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
016	集会施設	●入居団体の減により、指定管理者による運営が厳しい状況となっています。	●既存施設の特性を活かした活用が進み、地域コミュニティが活性化しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	新	勤労福祉センター改修工事	1,500	1,500	0	0	0	0		経済港湾課

【心意気 4】健康の維持と増進

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	135,162千円		124,240千円		124,240千円	
	116,767千円		114,310千円		114,310千円	

内容	- 健康でいきいき暮らすことは、いつの時代も暮らしの基本です。 - 市民の健康についての意識を高め、誰もが健康で充実した人生を送れるよう、予防や啓発、また健康づくりに努めます。
----	---

目的	■市民の健康を維持し、元気な市民がたくさんいるまちにすること
----	--------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
18	特定健康診査の受診率	%	22.2	32.1	65.0
19	特定健康診査における40～75歳の生活習慣病のリスク保有率	%	37.6	38.4	30.0
20	健康管理に気をつけている市民の割合	%	87.4	84.4	89.0
21	健康の維持や増進に対する満足度	%	25.8	31.0	49.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
017	健康・保健予防	●留萌市健康づくり計画の中間評価をするにあたり、アンケートや健康データ、健康いきいきサポーターとの意見交換から、健康についての意識は持ちつつも、時間的余裕がないなど、その実践に一步踏み込めない方が多いようです。 ●個々人が健康について意識していることを、どう実践に結びつけるかが課題となっています。	●健康都市宣言の趣旨に基づくさまざまな施策展開により、市民の健康意識が高まり、予防や健康づくりに積極的に取り組む市民が増えています。 ●地域の健康課題の克服と科学的根拠に基づいた新しい予防対策を提案します。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	保健衛生統括事業	628	628	628	628	628	628		保健医療課
02	継	は一とふる管理事業	21,334	20,634	21,334	20,634	21,334	20,634		保健医療課
03	継	公用車管理事業	1,430	1,430	1,430	1,430	1,430	1,430		保健医療課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
04	新	は一とふる改修工事	6,016	0	0	0	0	0	※ 公共施設整備基金充当	保健医療課
05	新	健康づくり計画策定事業	2,457	2,457	0	0	0	0		保健医療課
06	継	保健予防統括事業	327	327	327	327	327	327		保健医療課
07	継	保健予防事業	37,327	34,743	37,327	34,743	37,327	34,743		保健医療課
08	継	母子保健事業	14,815	14,540	14,815	14,540	14,815	14,540		保健医療課
09	継	健康増進統括事業	2,978	2,978	2,978	2,978	2,978	2,978		保健医療課
10	継	健康増進事業	13,754	12,854	13,754	12,854	13,754	12,854		保健医療課
11	継	食生活改善事業	213	213	213	213	213	213		保健医療課
12	継	がん検診推進事業	1,814	1,514	1,814	1,514	1,814	1,514		保健医療課
13	継	心の健康啓発事業	272	136	272	136	272	136		保健医療課
14	新	特定不妊治療費助成金	1,500	0	1,500	0	1,500	0	※ 過疎	保健医療課
15	継	コホートピア推進事業	425	425	425	425	425	425		コホートピア推進室
16	継	るもい健康の駅管理事業	23,792	23,792	23,792	23,792	23,792	23,792		コホートピア推進室
17	継	公用車管理事業	96	96	96	96	96	96		コホートピア推進室
18	継	目のコホート研究事業	3,535	0	3,535	0	3,535	0	※ ふるさと応援基金充当	コホートピア推進室
19	継	地域リスク介入研究推進事業	2,449	0	0	0	0	0	※ ふるさと応援基金充当	コホートピア推進室

【心意気5】安心できる地域医療の充実

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	906,039千円		889,537千円		856,039千円	
			839,537千円		839,537千円	

内容	・安心して健康に暮らせることは、みんなの願いです。 ・病院、診療所など市内の医療機関の役割分担や連携を深め、地域医療全般の機能を高めながら、地域センター病院としての市立病院の健全な経営と市民から信頼される医療サービスの提供に努めます。
----	--

目的	■市民が安心して暮らせる医療環境を提供すること
----	-------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
22	地域医療に対する満足度【基本構想指標】	%	10.6	14.5	60.0
23	高度な医療を提供する中核病院に対する満足度	%	14.8	30.4	35.0
24	市立病院利用（外来）における患者満足度	%	64.0	81.5	75.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
018	地域医療	●人口に占める高齢者の割合が増え、かかりつけ医の機能がより求められるようになりました。 ●これに対応するための医師・看護師等、医療スタッフの確保が喫緊の課題となっています。	●救急、小児、周産期の医療体制が整い、市民の誰もがいつでも適切な医療を受けることができ、安心感が高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	地域医療対策事業	1,711	1,004	1,711	1,004	1,711	1,004		保健医療課
02	継	看護師等修学資金貸付金	3,960	3,960	3,960	3,960	3,960	3,960		保健医療課
03	継	医療人材交流拠点形成事業	338	0	338	0	338	0	※ ふるさと応援基金充当	コホートピア推進室

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
019	地域センター病院	●地方の医師不足が深刻化している現状を踏まえ、医師確保対策の取り組みはますます重要な課題となっています。 ●修学資金貸付制度の見直しなど対策を講じていますが、看護師不足の解消に向けた取り組みは今後においても継続していかなければならない状況にあります。	●市立病院の経営改善が図られ、二次医療圏における中核病院として医療体制が充実し、市内で高度な医療を受けることができ、市民の安心感、信頼度も高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	病院事業会計負担金	404,305	404,305	404,305	404,305	404,305	404,305		保健医療課
02	継	病院事業会計補助金	159,487	159,487	159,487	159,487	159,487	159,487		保健医療課
03	新	病院事業会計補助金（特別支援分）	50,000	50,000	0	0	0	0		保健医療課
04	継	病院事業会計負担金（小児救急）	6,587	2,196	6,587	2,196	6,587	2,196		保健医療課
05	継	病院事業会計負担金（二次救急）	41,593	30,527	41,593	30,527	41,593	30,527		保健医療課
06	継	病院事業会計出資金	238,058	238,058	238,058	238,058	238,058	238,058		保健医療課

【心意気6】地域福祉の充実

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	664,339千円		653,842千円		653,842千円	
	162,771千円		156,009千円		156,009千円	

内容	- 人口減少に伴い高齢者の人口割合が増えていきます。 - そうした地域社会では、市民が互いに温かいつながりを持ち、「お互いさま」の気持ちを持って、助け合って暮らしていくことが不可欠です。 - 高齢者や障がい者も、いきがいを持ち、安心して暮らせるように、市民一人ひとりが、自分のできる役割を果たし、誰もが穏やかに、ほほえみや温かみのある暮らしができるように努めます。
----	--

目的	■高齢者がいきがいを持ち、安心して暮らせること ■障がい者が、希望を持ち、自立して暮らせること
----	---

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
25	老人クラブ加入率	%	28.0	13.8	↗(23.0)
26	高齢者や障がい者がいきがいをもって暮らしていると感じる市民の割合	%	25.8	18.1	25.0
27	地域福祉の充実に対する満足度	%	16.2	13.5	17.0
28	市民が互いに助け合って生活することに対する満足度	%	23.3	17.9	17.0
29	高齢者施策に対する満足度	%	9.4	33.5	30.0
30	障がい者が自立して暮らせることに対する満足度	%	6.7	10.6	10.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
020	地域福祉	●地域の福祉が充実していると感じていない市民、お互いに助け合って生活していると感じていない市民が多く、また、ボランティアに参加していない市民も多数いる状況です。	●市民の相互協力の意識が高まり、みんなに優しい信頼される地域福祉が行われ、市民の日常生活の安心感が高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	社会福祉統括事業	624	624	624	624	624	624		社会福祉課
02	継	行旅病人等扶助費	10	10	10	10	10	10		社会福祉課
03	継	その他社会福祉事業	165	165	165	165	165	165		社会福祉課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
04	継	民生委員事業	7,396	1,971	7,396	1,971	7,396	1,971		社会福祉課
05	継	社会福祉協議会補助金	11,412	6,721	11,412	6,721	11,412	6,721	※ 社会福祉振興基金充当	社会福祉課
06	継	社会福祉振興基金積立金	54	0	54	0	54	0		社会福祉課
07	継	住居確保給付金	279	70	279	70	279	70		社会福祉課
08	継	自立相談支援事業	2,397	600	2,397	600	2,397	600		社会福祉課
09	継	子どもの学習支援事業委託料	899	450	899	450	899	450		社会福祉課
10	新	地域福祉計画策定事業	3,000	3,000	0	0	0	0		社会福祉課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
021	高齢者	●高齢者の見守りネットワークについては、地域団体、関係機関、行政等が共通認識を持ちつつ、役割を整理する必要があります。 ●今後もサービス内容がニーズにあったものか否かを常に検証し、関係団体や地域との連携を強化する必要があります。	●高齢者やその家族の安心感も高まり、高齢者自身が経験や知識を活かし社会参加するなど、健康で明るく、いきいきと生活している高齢者が増えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	高齢者福祉統括事業	87	87	87	87	87	87		介護支援課
02	継	老人保護措置費	2,266	1,549	2,266	1,549	2,266	1,549	※ 義務(扶助)	介護支援課
03	継	在宅高齢者福祉統括事業	28	28	28	28	28	28		介護支援課
04	継	デイサービスセンターはーとふる運営委託料	51,637	0	51,637	0	51,637	0		介護支援課
05	継	緊急通報システム事業	3,783	0	3,783	0	3,783	0	※ 社会福祉振興基金充当	介護支援課
06	継	高齢者除雪サービス事業	3,837	0	3,837	0	3,837	0	※ 社会福祉振興基金充当	介護支援課
07	継	在日外国人高齢者福祉給付金	120	0	120	0	120	0	※ 義務(扶助)	介護支援課
08	継	老人クラブ運営費補助金	1,548	620	1,548	620	1,548	620		介護支援課
09	継	老人クラブ連合会運営費補助金	986	567	986	567	986	567		介護支援課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
022	障がい者	●障がい者に対する相談業務及び就労促進のための事業等を実施してきましたが、障がい者がいきがいを 持って、自立して暮らしていくための支援等が必要な状況です。	●障がい者が自立して生活していくために、地域が見守り、手助けし、 障がい者の暮らしを支えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	障害者福祉統括事業	522	417	522	417	522	417		社会福祉課
02	継	精神障害者社会復帰支援事業補助金[施設通所交通費]	250	125	250	125	250	125		社会福祉課
03	継	障害支援区分認定審査会事業	610	119	610	119	610	119		社会福祉課
04	継	障害者自立支援給付事業	481,845	120,827	481,845	120,827	481,845	120,827	※ 義務(扶助)	社会福祉課
05	継	障害者自立支援医療給付事業	49,634	12,455	49,634	12,455	49,634	12,455	※ 義務(扶助)	社会福祉課
06	継	障害者補装具費支給費	8,538	2,135	8,538	2,135	8,538	2,135	※ 義務(扶助)	社会福祉課
07	継	障害者地域生活支援統括事業	54	54	54	54	54	54		社会福祉課
08	継	障害者基幹相談支援事業委託料	2,700	0	2,700	0	2,700	0	※ 社会福祉振興基金充当	社会福祉課
09	継	障害者地域生活支援事業	12,811	3,204	12,811	3,204	12,811	3,204		社会福祉課
10	継	精神障害者ボランティア活動支援事業補助金	100	25	100	25	100	25		社会福祉課
11	継	障害者団体活動支援事業	2,979	2,679	2,979	2,679	2,979	2,679		社会福祉課
12	継	障害者相談支援事業委託料	4,041	0	4,041	0	4,041	0	※ 社会福祉振興基金充当	社会福祉課
13	継	身体障害者福祉事業	165	165	165	165	165	165		社会福祉課
14	継	特別障害者等手当支給事業	69	69	69	69	69	69		社会福祉課
15	継	特別障害者等手当扶助費	5,571	1,393	5,571	1,393	5,571	1,393	※ 義務(扶助)	社会福祉課
16	新	北海道障害者スポーツ大会開催負担金	3,500	2,500	0	0	0	0		社会福祉課
17	新	社会保障・税番号制度導入事業	422	142	0	0	0	0		社会福祉課

【心意気7】 社会保障の充実

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	2,125,291千円		2,062,986千円		2,062,986千円	
	1,119,066千円		1,048,934千円		1,048,934千円	

内容	・先行きが不透明な現状の中で、経済面、生活面で将来に不安を抱く人が少なくありません。 ・「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という共助の精神を基礎に、国の制度に基づき、医療、介護、生活、経済などのセーフティーネット(安全網)をみんなで保持する意義や必要性を理解しあい、安心して、生活できる地域社会作りに努めます。
----	--

目的	■万一の場合でも、市民が安心して生活できること
----	-------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期(2016年)目標値
31	生活保護受給者数	人	527	538	↓(572)
32	要介護(支援)認定者率	%	17.9	18.0	↓(16.9)
33	国民健康保険の一人当たり1年間の医療費	千円	377	471	↓(417)
34	後期高齢者医療の一人当たり1年間の医療費	千円	1,110	1,135	→(1,110)
35	いまの生活不安度	%	80.8	69.3	↓(50.0)
36	老後の生活不安度【基本構想指標】	%	89.4	83.3	40.0
37	社会保障に対する満足度	%	9.0	12.6	26.0
38	助産施設利用者数	人	1	0	1
39	介護予防事業参加率	%	31.5	38.7	32.0

■各事業の現状と課題と後期(2016年)の目指す姿及び第10期(H28~30)3カ年実施計画(事務事業)

(単位:千円)

分類 No	施策分類	現状と課題	後期(2016年)の目指す姿
023	国民健康保険	●加入者の高齢化や疾病の高医療費化が進み、国保財政悪化の一因となっていることから、医療費の適正化を図らなければなりません。 ●特定健診の受診率や特定保健指導の実施率の向上を図りながら、市民の健康意識の醸成を進めるため、関係機関と連携し、レセプトや健診データを活用した保健事業を推進していく必要があります。	●市民の健康意識が高まり、生活習慣病などの患者が減少し、医療費の適正化が進み、保険財政の安定化が図られています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	国民健康保険事業特別会計繰出金	211,633	114,413	211,633	114,413	211,633	114,413		市民課
02	新	国民健康保険事業特別会計繰出金(特別支援分)	70,000	70,000	0	0	0	0		市民課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
024	後期高齢者医療	●医療費が増大する中で、持続可能な医療保険制度とするため、加入者の適正な負担と安定した保険財政の維持が課題です。	●健康で、いきいきと暮らす高齢者が増え、高齢者医療保険も安定的に運営されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	北海道後期高齢者医療広域連合負担金	331,027	331,027	331,027	331,027	331,027	331,027		市民課
02	継	後期高齢者医療事業特別会計繰出金	110,296	46,129	110,296	46,129	110,296	46,129		市民課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
025	医療費助成	●経済的に安定した生活(自立)を促しながら、安心して医療サービスを受けられる環境整備が課題です。	●助成制度と自助努力によって健康で、安心な日常生活を送っています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	心身障害者等医療費助成事業	317	174	317	174	317	174		市民課
02	継	重度心身障害者医療給付事業	2,969	1,485	2,969	1,485	2,969	1,485		市民課
03	継	重度心身障害者医療扶助費	52,515	16,258	52,515	16,258	52,515	16,258	※ 義務(扶助)	市民課
04	継	ひとり親家庭等医療給付事業	837	419	837	419	837	419		市民課
05	継	ひとり親家庭等医療扶助費	8,214	3,857	8,214	3,857	8,214	3,857	※ 義務(扶助)	市民課
06	継	乳幼児等医療費助成事業	820	699	820	699	820	699		市民課
07	継	乳幼児等医療費審査支払手数料	911	911	911	911	911	911		市民課
08	継	乳幼児等医療扶助費	36,600	9,956	44,706	9,962	44,706	9,962	※ 義務(扶助) ※ 過疎	市民課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
026	ひとり親・寡婦・助産	●経済的に不安定なひとり親家庭への就労による自立支援が課題です。 ●経済的理由により、入院助産を受けることができない方への支援が必要です。	●ひとり親家庭でも経済的に安定し、自立した生活に向けて取り組んでいます。 ●世帯の経済的状況に関わらず、安心して出産できています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	助産施設扶助費	300	75	300	75	300	75	※ 義務(扶助)	子育て支援課
02	継	母子福祉統括事業	31	27	31	27	31	27		子育て支援課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
027	年金	●国民年金は国が管掌する事業であり、社会保障の一環として暮らしの安心には必要不可欠な制度です。本市としては、年金事務所と協力連携を密にし、市民に身近な窓口として一部申請や相談、情報提供などを行っています。	●公的年金制度に対する理解も深まり、老後の生活安心感が高まるとともに、年金によって健全な生活が維持されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	国民年金受託事業	95	0	95	0	95	0		市民課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
028	生活保護	●地域経済が低迷しており、受給者が増加傾向にありましたが、一定の歯止めがかかりつつあります。	●就労可能な受給者が、自らの努力と公的支援により自立に向かうケースが増えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	生活保護統括事業	323	323	323	323	323	323		社会福祉課
02	継	生活保護適正実施推進事業	1,625	967	1,625	967	1,625	967		社会福祉課
03	継	その他生活保護事業	1,326	1,326	1,326	1,326	1,326	1,326		社会福祉課
04	新	社会保障・税番号制度導入事業	411	138	0	0	0	0		社会福祉課
05	継	被保護者就労支援事業	1,939	485	1,939	485	1,939	485		社会福祉課
06	継	生活保護扶助費	976,560	207,767	976,560	207,767	976,560	207,767	※ 義務(扶助)	社会福祉課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
029	介護保険・介護予防	●市民の様々なニーズなどを常に的確に把握し、真に必要な介護サービスを提供するとともに、引き続き介護予防事業に重点をおき、介護給付適正化に努める必要があります。 ●第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステムの構築に向け、取り組みを進めていきます。	●介護サービスや事業所情報が統一基準で公開され、サービス内容が利用者にできるだけ利用しやすくなりやすい制度となっています。 ●利用者が事業所(者)を自由に選択でき、本当に必要なサービス提供を受け、安心して生活できる環境になり、満足度が向上しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	介護保険事業特別会計繰出金	316,542	312,630	316,542	312,630	316,542	312,630		介護支援課

【心意気8】地産地消と一次産業の推進

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	106,315千円		29,817千円		86,146千円	
			93,160千円		23,886千円	
					23,879千円	

内容	- 人々の健康志向や食文化の進展に伴い、「安全・安心な食料」「生産者の顔の見える食料」に大きな期待が寄せられています。 - 今こそ、留萌の海と大地から生み出される産物を活かす知恵を出し合い、生産者も消費者も、留萌の“地力”を“生きるエネルギー”に変えていく必要があります。 - 日本海で獲れる魚介類や山々で採れる農作物などの留萌の産物を、市民が自然の恵みと受け止め、積極的に消費することによって、生産者、消費者、行政が一体となって地域経済の掘り起こしや活性化につなげていけるよう努めます。
----	--

目的	■留萌の地力を掘り起こし、地域経済の活発なまちにすること
----	------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
40	産直市等の参加者数	人	22,000	21,400	↗(30,000)
-	農業生産高【基本構想指標】	百万円	780.0	未公表	→(780.0)
41	農業販売額	百万円	628.0	543.4	628.0
42	漁業生産高【基本構想指標】	百万円	748.8	544.8	→(748.8)
43	地元産品であることを意識して商品を選択する市民の割合【基本構想指標】	%	51.7	59.6	65.0
44	地産地消が推進されていることに対する満足度	%	15.6	24.0	41.0
45	漁業従事者数	人	37	29	38

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

(単位：千円)

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
030	農業	●農業を取り巻く環境は、農業従事者の減少・高齢化、農業所得の減少など厳しい状況にあります。良質米としての南るもい米の認知度は高まっていますが、本市の農業・農村を持続的に発展させていくためには、新たな担い手の確保、経営基盤の強化、計画的な生産基盤整備、農村集落の多面的機能の維持が課題となっています。	●農業の担い手の確保や育成、効率的な農地集積が進み、優良な主食用米が安定的に供給され、南るもい米ブランドが市内外から認知されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	農業委員会運営事業	3,489	1,607	3,489	1,607	3,489	1,607		農業委員会

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
02	継	農林行政統括事業	418	418	418	418	418	418		農林水産課
03	継	中山間地域等直接支払制度推進事業	326	0	326	0	326	0		農林水産課
04	継	中山間地域等直接支払交付金	16,062	4,016	16,062	4,016	16,062	4,016		農林水産課
05	継	多面的機能支払推進事業	518	0	518	0	518	0		農林水産課
06	継	多面的機能支払交付金	15,699	25	15,699	25	15,699	25	※ 過疎	農林水産課
07	継	北海道農業担い手育成センター負担金	90	90	90	90	90	90		農林水産課
08	継	農業経営基盤強化資金利子負担金	91	46	76	39	62	32		農林水産課
09	継	経営所得安定対策直接支払推進事業補助金	2,412	0	2,412	0	2,412	0		農林水産課
10	継	鳥獣被害防止総合対策事業補助金	1,507	1,507	0	0	0	0		農林水産課
11	継	北海道土地改良事業団体連合会負担金	40	40	40	40	40	40		農林水産課
12	新	農業を核とした産業創出プロジェクト事業	14,693	93	7,000	0	0	0	※ 過疎	農林水産課
13	継	青年就農補助金	1,500	0	3,000	0	3,000	0		農林水産課
14	継	新規就農者支援事業	4,056	56	3,304	4	3,304	4	※ 過疎	農林水産課
15	新	るもい子ども食・農体験支援事業	138	0	138	0	138	0	※ ふるさと応援基金充当	農林水産課
16	新	幌糠農業・農村支援センター管理事業	2,564	2,564	0	0	0	0		農林水産課
17	新	新規就農者支援住宅管理事業	219	219	219	219	219	219		農林水産課
18	継	礼受牧場管理事業	204	204	204	204	204	204		農林水産課
19	継	農村交流センター管理事業	2,777	2,297	2,777	2,297	2,777	2,297		農林水産課
20	継	畜産館管理事業	847	847	847	847	847	847		農林水産課
21	継	防災ダム管理事業	1,245	1,245	1,245	1,245	1,245	1,245		農林水産課
22	継	有害鳥獣駆除事業	1,390	1,370	1,390	1,370	1,390	1,370		環境保全課
23	継	留萌南部衛生組合負担金(有害鳥獣処理施設分)	6,815	6,815	6,815	6,815	6,815	6,815		環境保全課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
031	林業	●森林所有者の不在村化、高齢化、担い手不足、林業経営の採算性の低さなどにより、森林所有者の森林整備に対する意欲が著しく低下しています。 ●森林法改正により、今まで以上に計画的な森林施策が求められ、森林整備を推進するためには適切な間伐が不可欠ですが、間伐については伐採した樹木の搬出が義務付けられており、そのためには計画的な作業道整備が課題となっています。	●市有林の保全管理が継続的に行われるとともに、一般の森林所有者の森林整備に対する意欲も高まり、一般民有林の森林整備も進んでいます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	森林保護育成事業	138	138	138	138	138	138		農林水産課
02	継	森林整備地域活動支援交付金	460	115	460	115	460	115		農林水産課
03	継	市有林整備事業	8,879	65	8,879	65	8,879	65		農林水産課
04	継	ふるさとの森育成事業補助金	1,712	1,096	1,712	1,096	1,712	1,096		農林水産課
05	新	道営林道整備事業負担金	11,750	50	12,500	0	12,500	0	※ 過疎	農林水産課
06	新	林道等維持管理事業	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		農林水産課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
032	漁業	●本市の漁業形態は漁獲漁業が中心となっていますが、漁獲漁業は漁獲資源量の年変動が大きいことから安定的な漁業生産を確保できないことが課題となっています。 ●藻場は水産資源の生息場として資源の保護や培養に寄与するほか、二酸化炭素吸収による酸素の供給や水質浄化など公益的機能を発揮していますが、近年、留萌沿岸域における「磯焼け」現象が顕著であり、その対策が課題となっています。	●漁業の担い手の確保や育成が進み、経営基盤が安定し、積極的な設備投資など経営改善に取り組み、安全・安心な水産品が供給されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	水産行政振興事業	855	855	855	855	855	855		農林水産課
02	継	漁業近代化資金利子補給金	188	188	188	188	188	188		農林水産課
03	継	水難救難出動費交付金	500	500	500	500	500	500		農林水産課
04	継	水産業持続的発展推進事業	1,000	500	0	0	0	0		農林水産課
05	継	共同調査試験研究事業	1,874	1,158	0	0	0	0		農林水産課
06	継	漁港管理事業	859	693	859	693	859	693		農林水産課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
033	地産地消	●将来の担い手確保を目的とした農業体験や漁業体験を通して地産地消を推進しています。 ●留萌の食と観光を発信するイベント「うまいよ！るもい市」が、新たに民間主導での運営体制に移行し、新たな集客層やイベント内容の拡充に取り組んでいます。	●地場産品への関心や消費も高まり、安定供給体制も確立し、地域の１次産品がブランド化され、市民はもとより全国の消費者が“留萌産”を求めるようになってきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	南るもい米PR事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	農林水産課

【心意気9】エネルギーの有効利用

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	110千円		110千円		110千円	

内容	- 例えば、車中心の現代社会は、道路、駐車場の整備、エネルギーの消費、交通事故など社会的なコストが大きく、環境にも大きな負荷を与え、高齢者、子どもには優しくない都市環境を作っています。 - 次の世代に住みよい環境を残していくためにも、自然の恵みを活かし、資源を大切に、地球環境に配慮しながら、石油製品などの化石燃料や木材などの消費を抑え、風力や太陽光などの新エネルギーの利活用に努めます。
----	---

目的	■地球環境を守るために、自然にやさしい生活を送ること
----	----------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
46	一件当たり1年間の電灯電力量【基本構想指標】	kwh	3,612	3,255	やや下(3,612)
47	エネルギーや資源の有効利用や節約をする気持ちのある市民の割合【基本構想指標】	%	17.3	17.1	65.0
48	再生品・エコマーク商品の使用点数	点	95.9	135.5	120.0
49	家庭でのエコ・ドライブの取組点数	点	108.3	129.0	130.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
034	省エネルギー・新エネルギー	●道内原子力発電所の操業再開の目途がたっておらず、火力発電所の高稼働の状態が続いていることによる、停止リスクが高まっているため、節電意識の高揚が引き続き必要となっています。 ●H26年度より市内の主要な事業所を対象にエネルギー消費量のアンケートを実施しています。 ●新エネルギー資源の実態や利用の可能性など、基礎的データの把握が課題です。	●限りある資源の有効活用に対する市民や企業の意識も向上し、豊かな自然環境を次世代に引継ぎ、自然と共生する持続可能な地域づくりに向かって、市民・企業・行政が一体となった取り組みが進んでいます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	再生可能エネルギー調査研究事業	110	110	110	110	110	110		政策調整課

【心意気10】市民生活の基盤づくり

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費	うち一般財源	平成29年度事業費	うち一般財源	平成30年度事業費	うち一般財源
	2,174,746千円	1,633,324千円	1,973,419千円	1,672,354千円	1,945,918千円	1,672,912千円

内容	・積雪寒冷の厳しい自然条件や社会生活によって起こるさまざまな事件、事故から毎日の暮らしを守り、合わせて個々の欲求と地域全体のバランスを図り、安全で安心で清潔な生活環境を市民みんなの力を合わせて築いていかなければなりません。 ・交通安全や防犯への取り組み、河川やダムを整備、上水道の供給、下水道やし尿、ごみの処理、防火など生活全般に市民の努力と協力が必要です。 ・特に、冬期間を快適、安全に生活するための除排雪には、大きな経済的な負担が伴うため、市民の自助努力、マナーの向上が必要です。
----	--

目的	■市民が、快適で安全な生活環境で暮らせるまちにすること
----	-----------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
50	下水道普及率	%	74.0	84.1	83.0
51	市民一人が1日に出すごみの量【基本構想指標】	g	632.1	526.5	600.0
52	普通救命講習受講率	%	11.5	38.0	20.0
53	火災、事故などへの備えがある安心できるまちであることに対する満足度	%	15.2	30.8	40.0
54	下水道水洗化率	%	82.3	86.8	87.5
55	市営住宅の入居率	%	85.3	77.8	86.1
56	清潔で安心で、暮らしやすいと感じる市民の割合【基本構想指標】	%	31.3	34.5	60.0
57	刑法犯発生件数	件	118	104	95
58	交通事故発生件数	件	44	25	35
59	除雪満足度【基本構想指標】	%	30.1	36.9	60.0
60	ごみの減量とリサイクルに対する満足度	%	46.1	70.0	64.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3ヵ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
035	生活環境	●留萌市環境基本条例及び留萌市環境基本計画の理念を市民や事業者に対して更に浸透を図るため、環境に関する講演会等を継続的に開催することが必要です。また、H28年度を初年度とする、第二次留萌市環境基本計画策定のための準備を進めています。 ●公共交通の空白地域や利用者の減少に関して、市民レベルでの意識や問題としての高まりが見受けられず、地域公共交通の必要性が認識されていません。 ●適切に管理されていない空き地、空き家の所有者に対し適正管理の指導を粘り強く行っています。また「空家対策特別措置法」が制定されたことにより、新たな対応策の策定が課題となっています。 ●町内会防犯灯は、H26年度でLED化事業が完了しましたが、継続事業として、LED灯の新設や取替えに対して50,000円を上限額とする補助を実施します。 ●畜犬の飼育による糞の放置や飼育方法の苦情は、減少傾向ですが依然として寄せられており、衛生面や生活上の安全性を確保するため、飼い主のマナー向上を図ることが必要です。	●留萌市環境基本計画の理念が浸透し、環境問題、環境保全に関する市民や企業の意識も高まっています。 ●公共交通はその必要性を市民から理解され、安定した運営を行っています。 ●空き地は所有者の理解も深まり、環境の美化と危険防止が進んでいます。 ●空き家は関係機関との連携や所有者の理解により、適正な管理や解体が進み、危険防止が進んでいます。 ●街路灯はLED化され、町内会経費の削減、環境への貢献、防犯面での安心感が高まっています。 ●畜犬は狂犬病予防注射の実施率も高まり、飼い主のマナーも向上しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	狂犬病予防・野犬掃とう事業	470	0	470	0	470	0		環境保全課
02	継	環境審議会事業	90	90	90	90	90	90		環境保全課
03	継	環境保全事業	317	17	317	17	317	17		環境保全課
04	継	公用車管理事業	286	286	286	286	286	286		環境保全課
05	継	環境調査事業	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282		環境保全課
06	継	環境教育の普及事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	環境保全課
07	継	町内会街路灯設置事業補助金	179	179	179	179	179	179		都市整備課
08	継	生活路線バス輸送維持事業	10	0	10	0	10	0	※ 国鉄羽幌線代替輸送確保基金充当	政策調整課
09	継	生活路線バス輸送維持費補助金	6,140	0	6,140	0	6,140	0	※ 国鉄羽幌線代替輸送確保基金充当	政策調整課
10	継	生活路線バス購入費補助金	4,314	0	9,279	0	0	0	※ 国鉄羽幌線代替輸送確保基金充当	政策調整課
11	継	国鉄羽幌線代替輸送確保基金積立金	6	0	6	0	6	0		政策調整課
12	継	公共交通推進事業	40	40	40	40	40	40		政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
036	消費生活	●消費者相談窓口を委託している消費者協会の相談員の高齢化等により、持続可能な相談窓口の確立と機能の強化が課題となっています。	●消費者教育が充実し、トラブルが未然に防止され、消費生活の安心感も高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	消費者行政統括事業	53	53	53	53	53	53		経済港湾課
02	継	消費生活相談委託料	1,495	1,495	1,495	1,495	1,495	1,495		経済港湾課
03	継	消費者行政活性化委託料	5,305	326	5,305	326	5,305	326		経済港湾課
04	継	特定計量定期検査事業	5	5	0	0	0	0		経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
037	し尿処理	●処理施設は、昭和55年の建設であり老朽化が進んでいますが、留萌南部衛生組合の管理・運営のもと、計画的な改修工事の実施により施設の機能維持が図られています。 ●H26年度に収集運搬体制を、「許可制」から「委託制」に変更し、安定したし尿収集運搬業務が行われています。	●受益者負担の原則に基づく適正な手数料収入を原則とした施設の維持管理が行われています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	留萌南部衛生組合負担金（し尿処理場分）	47,935	47,935	47,935	47,935	47,935	47,935		環境保全課
02	継	し尿収集等委託事業	34,385	6,642	34,385	6,642	34,385	6,642		環境保全課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
038	火葬場	●留萌南部衛生組合により、適切に運営されています。	●終焉の儀式的場にふさわしい環境が持続されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	留萌南部衛生組合負担金（火葬場分）	30,923	30,923	30,923	30,923	30,923	30,923		環境保全課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
039	墓地	●墓所貸付希望者数を超える空き墓所があることから、貸付希望者の動向を見ながら、貸付を行います。	●新規墓地希望者の数を見ながら、整備に取り組んでいます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	市営墓地管理事業	1,354	1,354	1,354	1,354	1,354	1,354		環境保全課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
040	上水道	●現有施設の機能を停止することなく、計画的な事業を継続するため、今後も持続可能な水道事業経営の健全化を図っていく必要があります。	●安全で安定した水道水の供給が維持されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	飲料水水質検査費補助金	418	418	418	418	418	418		環境保全課
02	継	水道事業会計負担金	1,373	1,373	1,373	1,373	1,373	1,373		環境保全課
03	継	水道事業会計負担金	280	280	280	280	280	280		保健医療課
04	継	水道事業会計負担金	2,137	2,137	2,137	2,137	2,137	2,137		環境保全課
05	継	水道事業会計負担金	13,927	13,927	13,927	13,927	13,927	13,927		都市整備課
06	継	水道事業会計補助金	680	680	680	680	680	680		保健医療課
07	継	水道事業会計補助金(水源開発)	221	21	221	21	221	21		都市整備課
08	継	水道事業会計出資金	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900		保健医療課
09	継	水道事業会計出資金	7,841	7,841	7,841	7,841	7,841	7,841		環境保全課
10	継	幌糠簡易飲料水施設改修補助金	964	964	0	0	0	0		環境保全課
11	継	配水施設整備事業	38,100	0	47,700	68	83,700	0	再掲 ※ 上水道事業(水道事業会計)	上下水道課
12	継	幌糠地区送水管整備事業	67,829	0	0	0	0	0	再掲 ※ 上水道事業(水道事業会計)	上下水道課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
041	下水道	●水洗化人口は、供用開始から10年以上経過している地区は80％台、10年未満の地区は75％程度となっており、水洗化率向上対策が必要です。 ●下水道財政状況は、H19年度の累積赤字5億600万円に対し、H27年度予算で1億709万円となっており、引き続き累積赤字の解消対策が必要です。 ●処理場は、供用開始から23年が経過し、機械設備の老朽化による計画的な改修を行っています。	●経営健全化計画の確実な実施による持続可能な下水道事業経営が図られています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	下水道事業特別会計繰出金	373,981	373,981	373,981	373,981	373,981	373,981		上下水道課
02	継	公共下水道整備事業	258,800	0	325,800	2,500	145,800	3,000	再掲 ※ 下水道事業(下水道事業会計)	上下水道課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
042	浄化槽	●第2期留萌市生活排水処理基本計画により、公共下水道事業計画区域外を対象に国の「循環型社会形成推進交付金」の活用による浄化槽設置整備事業を進めており、合併浄化槽の整備促進が図られています。	●下水道認可区域外で合併処理浄化槽が普及し、市民の快適で衛生的な生活環境の改善が進んでいます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	浄化槽設置整備事業費補助金	1,764	1,176	1,764	1,176	1,764	1,176		環境保全課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
043	河川・ダム	●国の留萌川水系河川整備計画による留萌ダムと大和田遊水地の事業が完了しましたが、昨今の異常気象から市民の生命と財産を守るため、引き続き留萌川改修整備事業の推進を国に対して強く働きかける必要があります。 ●その他の河川でも北海道と留萌市で河川改修、災害復旧などの事業を行ってきましたが、未改修の原始河川もまだ多く残っています。	●市民の生命・財産を洪水から守るためのダムや河川が整備・管理され、市民が安心して暮らしています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	高砂・東雲排水機場管理事業	4,053	0	4,053	0	4,053	0		都市整備課
02	継	バンゴベ川樋門樋管管理事業	98	0	98	0	98	0		都市整備課
03	継	河川維持工事	670	670	670	670	670	670		都市整備課
04	新	カモイワ川河道浚渫工事	7,500	7,500	0	0	0	0		都市整備課
05	新	花園川排水整備工事	6,000	6,000	0	0	0	0		都市整備課
06	継	河川災害復旧事業	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		都市整備課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
044	除雪	●持続可能な除雪体制(直営・委託)の維持確保に努め、効率よく除排雪できるように路線の検証・見直しを行い、適正な事業実施に努めます。 ●道路の雪出しについては、啓発活動で一定の効果がみられる路線はありますが、依然として市内各所で重機の雪出しが交通障害の原因となっている箇所があるため、引き続き啓発活動に取り組んでいく必要があります。 ●ロードヒーティングは施設全体の老朽化が激しく、維持管理費も増大しているため、必要箇所、延長の再検討を施設更新計画に基づき行っていきます。	●市民との協働による効率的な除排雪により、冬の快適な生活に対する市民の満足度も徐々に向上しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	除雪車両管理事業	9,109	9,109	9,109	9,109	9,109	9,109		都市整備課
02	継	除雪対策事業	459,059	378,659	459,059	378,659	459,059	378,659		都市整備課
03	継	ロードヒーティング管理事業	26,454	26,454	26,454	26,454	26,454	26,454		都市整備課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
04	継	ロードヒーティング改修事業	89,300	0	0	0	0	0	※ 北8条通り ※ 過疎	都市整備課
05	新	除雪機械整備事業	19,543	159	47,864	50	29,642	608	※ 過疎	都市整備課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
045	市営住宅	●H27年3月末現在、公営住宅等の管理戸数は27団地162棟、1,385戸で、そのうち330戸は老朽化した簡平、簡2の住宅であり、177戸（約54%）が空き家になっています。 ●特に郊外の小規模団地は、老朽化が著しく、入居者の高齢化も進んでいるため、住戸改善に伴う団地の集約及び市街地の団地へ住替え等、なお一層のスピードアップが急務となっています。	●点在した団地の集約、高齢化に伴う市街地団地への住替え及びまちなか居住が進んでいます。 ●長寿命化計画（期間10年）では、団地集約及び用途廃止を進めながら管理戸数をH27年度（前期5年）では、道営の事業主体変更を含め1,385戸、H32年度（後期5年）までには1,272戸を目標としています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	住宅管理統括事業	771	771	771	771	771	771		建築住宅課
02	継	建築住宅課分室管理事業	205	205	205	205	205	205		建築住宅課
03	継	市営住宅管理事業	32,760	0	32,760	0	32,760	0		建築住宅課
04	継	市営住宅維持補修事業	55,578	0	55,578	0	55,578	0		建築住宅課
05	継	公用車管理事業	222	0	222	0	222	0		建築住宅課
06	継	借上公営住宅推進事業	17,280	0	17,280	0	17,280	0		建築住宅課
07	継	市営住宅明渡し訴訟準備事業	481	481	481	481	481	481		建築住宅課
08	継	公営住宅ストック総合改善事業（補助）	86,095	5,648	0	0	0	0	※ 春日町住戸改善、錦町・平和台外部改修、塩見町・春日町解体	建築住宅課
09	継	公営住宅ストック総合改善事業（単独）	22,800	0	0	0	0	0	※ 春日町住戸改善、錦町外部改修 ※ 公共施設整備基金充当	建築住宅課
10	新	市営住宅改善事業	14,430	0	0	0	0	0	※ 緊急通報、屋上防水 ※ 公共施設整備基金充当	建築住宅課
11	継	市営住宅消火器取替事業	316	316	316	316	316	316		建築住宅課
12	継	市営住宅量水器取替事業	2,856	2,856	2,856	2,856	2,856	2,856		建築住宅課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
046	火災・救急救命	●一般市民を対象とする普通救命講習は3時間と長めなため受講しにくいという人が多く、一般講習で1時間から2時間くらいの依頼が多くなっています。	●救急車が到着するまでの間に傷病者が放置されず、すばやい119番通報と早い応急手当がなされています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	留萌消防組合負担金(共通経費)	40,806	40,806	40,806	40,806	40,806	40,806		消防組合
02	継	留萌消防組合負担金(固有経費)	315,559	315,559	315,559	315,559	315,559	315,559		消防組合
03	継	留萌消防組合負担金(固有経費・消防庁舎改築事業分)	66,775	0	0	0	0	0	※ 過疎 ※ 公共施設整備基金充当	消防組合

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
047	防犯	●高齢者が被害者となる犯罪は詐欺事件など、あとを絶ちません。誰もが被害者になり得る、巧妙な手口の犯罪が増えてきており、犯罪防止・被害者とならないために更なる啓発と地域ぐるみの取り組みが必要です。	●安全で安心な暮らしのため、地域が一丸となって防犯活動に取り組み、市民が「安全で安心なまち」を実感でき、犯罪件数も減少しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	留萌市防犯協会補助金	100	100	100	100	100	100		総務課
02	継	留萌地区防犯協会連合会負担金	99	99	99	99	99	99		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
048	交通安全	●高齢化社会の進展に伴い、高齢者が加害者や被害者になる割合が上昇しています。また、高齢者を対象とした交通啓蒙運動を強化する必要があります。 ●児童・生徒の安全な自転車運転のため、家庭・学校でのより一層の交通教育が必要です。また、一般自転車利用者に対する基本的な交通ルールへの遵守とマナーの向上について、啓発が必要です。 ●ドライバー・自転車・歩行者のそれぞれの立場での交通ルールとマナーなどに関した啓発が必要です。	●家庭・事業所・地域での交通安全に対する意識が高まり、市民が当事者になる交通事故はゼロに近づいています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	交通安全推進事業	1,066	1,041	1,066	1,041	1,066	1,041		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
049	ごみ・一般廃棄物	●留萌南部衛生組合による広域ごみ処理の開始に伴い、新たなごみ分別となったことから、引き続き適正なごみ分別の排出指導が必要となります。	●廃棄物の適正な処理、資源の再利用・再資源化による有効活用が進み、市民のリサイクル意識がさらに高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	クリーンステーション管理事業	1,065	1,065	1,065	1,065	1,065	1,065		環境保全課
02	継	綿製品リサイクル事業	1,591	1,591	1,591	1,591	1,591	1,591		環境保全課
03	継	旧ごみ処理場（浜中）管理事業	3,959	3,959	3,959	3,959	3,959	3,959		環境保全課
04	継	清掃統括事業	678	618	678	618	678	618		環境保全課
05	継	環境美化事業	336	336	336	336	336	336		環境保全課
06	継	美サイクル館管理事業	86,772	73,712	86,772	73,712	86,772	73,712		環境保全課
07	継	公用車管理事業	362	362	362	362	362	362		環境保全課
08	継	藤山地区環境保全対策事業補助金	60	60	60	60	60	60		環境保全課
09	継	留萌南部衛生組合負担金（一般廃棄物処理施設分）	255,863	255,863	315,119	315,119	315,119	315,119		環境保全課

【心意気11】災害に強い地域づくり

施策に要する全体経費 (一般会計:3ヵ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	3,235千円		3,235千円		3,235千円	
	3,051千円		3,051千円		3,051千円	

内容	・台風や地震、津波などの自然災害から、市民の生命・財産を守るため、町内会などの地域コミュニティを基礎に自主防災の意識を高め、同時に的確な情報を提供する体制を確立します。
----	--

目的	■自然災害から市民の生命・財産を守れるまちにすること
----	----------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
61	町内会における自主防災組織の組織数	件	6	47	140
62	普段から災害への備えをしている市民の割合【基本構想指標】	%	31.5	29.1	60.0
63	防災訓練に参加した市民の割合	%	－	1.6	30.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3ヵ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
050	防災	●町内会活動における役員のなり手が高齢化しており、また、一部の人に限られてきていることなどから、自主防災組織未設置の町内会が多い状況ですが、地域は自ら守るという「自助・共助」が発揮される自主防災組織の設置を促進する必要があります。 ●全市的に「自主防災組織」単位の自主的な防災訓練を毎年実施できるように、自主防災組織活動への支援制度を構築する必要があります。 ●災害発生時の災害情報等を迅速かつ確実に市民に伝達する仕組みを構築し、発災時に素早く避難行動をとることができる情報伝達方法を確立する必要があります。 ●災害時における避難行動を自ら取れない、介護を要する市民の避難支援については、地域の連携が重要となることから、個別計画作成を町内会に推進し、また、その役割について理解と協力を努めます。	●災害時の被害縮小に向けた地域の助け合いの精神（向こう三軒両隣）が浸透し、日常的に防災訓練が実施され、市民が安心して安全な暮らしをしています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	防災事業	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003		総務課
02	継	防災施設管理事業	2,187	2,003	2,187	2,003	2,187	2,003		総務課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
03	継	沿岸部避難路自主管理支援事業	45	45	45	45	45	45		総務課
04	継	安全な地域づくり事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	総務・消防
05	継	留萌消防組合消防団協力事業所表示制度	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	消防組合
06	継	消防見学会	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	消防組合

【心意気12】 税などの負担

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	21,836千円		18,172千円		18,172千円	
	13,680千円		10,016千円		10,016千円	

内容	・税や使用料、手数料などの市民の負担は、まちの運営(自治)を支える基本です。 ・こうした負担を、公平、公正に、あるいはサービスを受ける割合に応じて市民が負担することの意味を理解しあい、税などの収納率(納付率)の向上を目指します。
----	---

目的	■市民みんなが公平、公正に地域社会を支え合うまちにすること
----	-------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期(2016年)目標値
64	その年度の税や住宅使用料、水道料金などの総体の収納率【基本構想指標】	%	98.0	97.9	98.0
65	税などの市民負担についての理解度	%	25.5	50.2	69.0

■各事業の現状と課題と後期(2016年)の目指す姿及び第10期(H28～30)3カ年実施計画(事務事業)

(単位:千円)

分類 No	施策分類	現状と課題	後期(2016年)の目指す姿
051	税・税外収入	●前期計画中は税制改正、税率改正、未曾有の景気低迷など税環境は極めて厳しい状況下にあり、様々な収納手法を講じて、一定の収納率を確保できましたが、H25年度の市税(国保を除く)の決算における収納率が、全道各市の平均98.6%と比較すると、まだ全道平均を下回っていることが課題です。 ●収入未済の多い固定資産税における課税客体の実態把握の精度を高め、さらに、市税徴収の運営方針に定める目標収納率や各種差し押さえなど重点実施事項を確実に励行する努力をしなければなりません。 ●税外収入の収納率が低迷し、また、滞納繰越額が減少しておらず、徴収や滞納整理に対する知識や技術不足が課題となっています。	●税とは、「自ら進んで納める社会の会費である」という意識が高まっています。 ●自主納税の意識の高まりから、口座振替や特別徴収義務者が増え、収納率が高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	税務事務統括事業	16	16	16	16	16	16		税務課
02	継	市税賦課徴収事業(収納対策等)	4,500	0	4,500	0	4,500	0		税務課
03	継	市税賦課徴収事業(市民税)	2,919	0	2,919	0	2,919	0		税務課
04	継	市税賦課徴収事業(資産税)	737	0	737	0	737	0		税務課
05	継	市税等還付金及び加算金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		税務課
06	継	固定資産標準地鑑定評価委託料	3,664	3,664	0	0	0	0		税務課

【心意気13】子どもの育成と支援

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費	うち一般財源	平成29年度事業費	うち一般財源	平成30年度事業費	うち一般財源
	804,163千円	229,093千円	783,163千円	229,093千円	783,163千円	229,093千円

内容	・子どもは地域社会の宝です。 ・少子化が進んでいる今日、次代を担う子どもたちの可能性を地域の宝として、みんなで育む決意が必要です。 ・家庭、学校、地域、行政が一体となって、子どもたちの健全な成長を願い、子どもが育ちやすい環境、子育てしやすい環境づくりに努めます。
----	---

目的	■子どもたちが、心身ともに健康・健全に成長できるまちにすること
----	---------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
66	地域のこわいおじさん・おばさん運動への登録延べ件数	件	4,525	4,573	↗(4,565)
67	年齢別人口で見る子ども(0～14歳)の割合【基本構想指標】	%	12.5	10.5	→(12.5)
68	子育てしやすいまちと感じる市民の割合	%	24.6	22.2	40.0
69	地域の子どもの育成や支援に対する満足度	%	19.2	23.7	42.0
70	幼稚園と保育所に対する満足度	%	16.5	22.5	42.0
71	障がい児療育の充実に対する満足度	%	8.0	17.6	36.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

(単位：千円)

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
052	子ども未来・少子化対策	●15歳未満の年少人口は年々減少しており、この傾向は今後も進行すると思われます。 ●少子化は、経済環境や非婚化、晩婚化など様々な要因が考えられるため、地域・社会全体で子育てのしやすい環境づくりに取り組む必要があります。 ●少子化に加え、核家族の増加や就労、社会、経済環境の変化や地域のつながりの衰退などを背景に、子育てを取り巻く環境等が厳しさを増している中で、子どもたちが将来への夢や希望を持ち、子育てが地域で支えられているという実感を持てるよう、地域・社会全体で子どもの育成や子育てを支援していく仕組みをつくることが重要かつ緊急な課題となっています。	●生まれてくる子どもやこれから育ていく子どもたちが家庭で温かく見守られ、地域から祝福され、留萌に住む人々が子どもを通して喜びに満ちた生活を送れ、さらには親が出産や子育て、仕事に楽しみを持ちながら安心して生活し、地域で助け合うまちになっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	児童福祉統括事業	270	270	270	270	270	270		子育て支援課
02	継	障害児通所等給付事業	82,532	20,795	82,532	20,795	82,532	20,795	※ 義務(扶助)	社会福祉課
03	継	児童手当扶助費	217,840	33,365	217,840	33,365	217,840	33,365	※ 義務(扶助)	子育て支援課
04	継	児童手当支給事業	483	483	483	483	483	483		子育て支援課
05	継	児童扶養手当扶助費	125,272	83,515	125,272	83,515	125,272	83,515	※ 義務(扶助)	子育て支援課
06	継	児童扶養手当支給事業	39	39	39	39	39	39		子育て支援課
07	継	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付費	38	19	38	19	38	19	※ 義務(扶助)	社会福祉課
08	継	子ども・子育て支援統括事業	210	210	210	210	210	210		子育て支援課
09	継	未熟児養育医療給付事業	2,673	482	2,673	482	2,673	482	※ 義務(扶助)	子育て支援課
10	継	子育て支援事業	385	0	385	0	385	0		子育て支援課
11	継	ファミリーサポートセンター事業委託料	3,451	1,319	3,451	1,319	3,451	1,319		子育て支援課
12	継	家庭児童相談室運営事業	23	23	23	23	23	23		子育て支援課
13	継	幼児言語治療教室運営事業	118	118	118	118	118	118		子育て支援課
14	継	母親クラブ活動費補助金	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134		子育て支援課
15	継	乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問事業	323	0	323	0	323	0		子育て支援課
16	継	留守家庭事業	13,454	0	13,454	0	13,454	0		子育て支援課
17	新	留守家庭児童会施設整備事業	21,000	0	0	0	0	0	※ 公共施設整備基金充当	子育て支援課
18	継	障害児養育支援事業委託料	4,069	4,069	4,069	4,069	4,069	4,069		子育て支援課
19	継	児童館運営管理事業	12,406	12,386	12,406	12,386	12,406	12,386		子育て支援課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
053	保育園	●経済的な要因等による共働き世帯の増加などにより、低年齢児童の保育ニーズが増加しており、安心・安全な保育環境の充実・整備が課題です。 ●円滑な障がい児の受け入れについて、障害の状態や程度に応じた保育士の配置(加配)が必要となっています。	●保育ニーズの多様化に対応するため、保育サービスの充実が図られています。 ●子育て世代の負担が軽減され、地域社会全体で安心して子育てができる環境が整備されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	留萌萌幼会助成事業	461	461	461	461	461	461		子育て支援課
02	継	保育士配置等補助金	9,209	9	9,209	9	9,209	9	※ 過疎	子育て支援課
03	継	児童福祉施設(保育所)管理事業	129	129	129	129	129	129		子育て支援課
04	継	児童福祉施設(保育所)運営事業	273,623	47,114	273,623	47,114	273,623	47,114	※ 義務(扶助) ※ 過疎	子育て支援課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
054	幼稚園	●事業展開の成果として、大多数の幼稚園児の保護者の負担軽減はされているが、幼児教育に対する満足度とこの事業の成果・効果を結びつけて判断することは難しい状況です。 ●本市には、市立幼稚園はなく、私立幼稚園2園で幼児教育を担っており、市が直接的に幼児教育を行う機関はありません。	●幼稚園就園奨励事業が継続して展開されており、幼稚園に通園する幼児の保護者の負担軽減が適切に図られています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	私立幼稚園就園奨励費補助金	28,359	21,553	28,359	21,553	28,359	21,553		子育て支援課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
055	幼児療育通園センター	●就学している子どもの放課後や長期休業時の居場所づくりの必要性が高まっています。 ●対象となる子どもの増加により、発達の遅れのある子どもや保護者が身近に相談できる「市町村発達支援センター」の機能の業務が増加しています。	●発達に遅れのある子どもが、基本的な生活習慣や集団生活に必要な適応力を身につけ、生活を送っています。 ●地域で見守り、手助けし、発達に遅れのある子どもや保護者の暮らしを支えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	通園センター運営管理事業	4,928	0	4,928	0	4,928	0		幼児療育通園センター
02	継	留萌南部地域幼児療育推進協議会運営費補助金	200	66	200	66	200	66		幼児療育通園センター

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
056	青少年・健全育成	●青少年健全育成事業については、長年継続している事業が多いため、引き続き、創意工夫により魅力ある事業展開が必要です。 ●青少年関係団体との交流や研修会等については、減少傾向にあります。 ●青少年の非行防止については、携帯電話やインターネットなどの利用に関する新たな問題が発生してきています。	●青少年の健全育成に、家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組み、青少年の社会活動も活発になり、社会の一員としての自覚を持って、健全な生活をしている子どもが増えていきます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	青少年統括事業	84	84	84	84	84	84		子育て支援課
02	継	青少年健全育成事業	993	993	993	993	993	993		子育て支援課
03	継	優良青少年表彰事業	34	34	34	34	34	34		子育て支援課
04	継	非行防止事業	303	303	303	303	303	303		子育て支援課
05	継	P T A 研究大会事業	120	120	120	120	120	120		生涯学習課

【心意気14】 学校教育の充実

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	748,805千円		443,741千円		421,214千円	
	413,465千円		394,459千円		389,041千円	

内容	・学校教育は、子どもたちの心身の発達に応じて、その可能性を伸ばし、自主自立し、公共性を持った市民となることを願い行なわれなければなりません。 ・そのため、国、道、市の役割分担のもと、家庭、学校、地域、行政が一体となり、子どもたちの学ぶ環境を整備し、充実した教育を行い、心と身体のバランスの取れた子どもたちの成長を目指します。
----	---

目的	■児童・生徒が、心身ともにバランスよく成長できること
----	----------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
72	学校施設の環境整備に対する満足度	%	－	60.5	50.0
73	小・中学校における学習状況に対する満足度	%	－	59.3	50.0
74	小・中学校における学校生活に対する満足度	%	－	62.9	50.0
75	栄養バランスを視点とした学校給食メニューに対する満足度	%	48.2	77.4	43.0
76	子どもの教育について家庭と学校の連携が十分だと感じる保護者の割合	%	－	69.8	60.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
057	学校施設	●子どもたちが安全で安心して学べる環境を整備するため、小中学校の適切な維持管理に取り組んでいるが、一部の学校施設については老朽化が著しく、学校施設の改築、大規模改修も含めた安全性の確保が強く求められています。 ●新たな小中学校適正配置計画に基づいた学校統廃合も視野に入れながら、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設の改築、大規模改修も含めた学校施設の適切な維持管理に取り組まなければなりません。	●子どもたちが安全で安心して学べる学校施設の整備とともに、時代の変化に対応した魅力的かつ良質な教育環境の整備により、子どもたちの夢と可能性が育つ学校教育が行われています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	小学校運営事業	9,672	9,672	9,672	9,672	9,672	9,672		学校教育課
02	継	小学校管理事業	64,947	64,610	64,947	64,610	64,947	64,610		学校教育課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
03	継	中学校運営事業	6,419	6,419	6,419	6,419	6,419	6,419		学校教育課
04	継	中学校管理事業	38,559	38,389	38,559	38,389	38,559	38,389		学校教育課
05	新	東光小学校バックネット取替工事	2,000	2,000	0	0	0	0		学校教育課
06	継	教員住宅解体工事	7,200	0	0	0	0	0	※ 過疎	学校教育課
07	新	潮静小学校屋体耐震補強事業	4,331	31	20,000	91	0	0	※ 過疎	学校教育課
08	継	教員住宅整備工事	2,988	2,988	0	0	0	0		学校教育課
09	継	東光小学校整備事業	301,100	33	0	0	0	0	※ 過疎	学校教育課
10	新	小学校 L A N 環境改善事業	4,500	4,500	0	0	0	0	※ 東光小	学校教育課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
058	学校教育	●各学校で実施されている標準学力検査や全国学力学習状況調査の結果、家庭での学習習慣や食生活、睡眠時間などと学力との深い関係が明らかになったことから、家庭と学校が一層協力して、生活習慣の改善と学力向上に努める必要があります。 ●家庭や地域と連携・協力した信頼される学校づくりの推進が求められています。	●地域の信頼に応える「開かれた学校」の推進、確かな学力の向上及び豊かな人間性と心身の健康を育む教育の推進により、子どもたちの笑顔と成長の姿が見えます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	交通遺児就学等助成事業	1	0	1	0	1	0		総務課
02	継	嘱託職員配置事業	47,957	47,957	47,957	47,957	47,957	47,957		学校教育課
03	継	臨時職員配置事業	33,331	33,331	33,331	33,331	33,331	33,331		学校教育課
04	継	スクールバス運行事業	10,186	10,115	10,186	10,115	10,186	10,115		学校教育課
05	継	英語指導助手配置事業	4,841	4,841	4,841	4,841	4,841	4,841		学校教育課
06	継	小学校教育振興事業	26,968	26,968	26,968	26,968	26,968	26,968		学校教育課
07	継	特別支援教育推進事業	243	243	243	243	243	243		学校教育課
08	継	教育扶助事業	18,408	17,721	18,408	17,721	18,408	17,721	※ 義務(扶助)・小学校	学校教育課
09	継	中学校教育振興事業	18,358	18,358	18,358	18,358	18,358	18,358		学校教育課
10	継	教育扶助事業	14,046	13,700	14,046	13,700	14,046	13,700	※ 義務(扶助)・中学校	学校教育課
11	継	学校保健事業	11,244	10,710	11,244	10,710	11,244	10,710		学校教育課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
12	継	教師用指導書購入費	3,500	3,500	0	0	0	0		学校教育課
13	継	スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業	309	0	309	0	309	0		学校教育課
14	継	スクールガードリーダー配置事業	178	60	178	60	178	60		学校教育課
15	継	冬期通学費補助金	103	103	52	52	66	66		学校教育課
16	継	遠距離通学費補助金	1,150	1,150	1,150	1,150	821	821		学校教育課
17	継	中体連参加費補助金	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500		学校教育課
18	継	子どもの食農教育推進事業	350	350	350	350	350	350		学校教育課
19	継	デジタル教材活用推進事業(小学校)	2,400	2,400	0	0	0	0		学校教育課
20	継	デジタル教材活用推進事業(中学校)	1,200	1,200	0	0	0	0		学校教育課
21	継	小中学校学習補助員配置事業	10,429	10,429	10,429	10,429	10,429	10,429		学校教育課
22	継	特別支援教育支援員配置事業	14,884	14,884	14,884	14,884	14,884	14,884		学校教育課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
059	学校給食	●地元食材の購入に関しては、単価や数量の確保、使用できる時期といった面で課題があり、地元食材を多く使用できない状況です。 ●H22年度から学校栄養職員がいなくなり栄養教諭1名になったため、今まで以上に計画的に「食の指導」を行わなければなりません。	●地元食材を多く取り入れた学校給食が提供され、児童生徒の成長を育んでいます。 ●食生活の大切さを学び、望ましい食習慣を身につけた児童生徒が増えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	学校給食統括事業	1,102	1,102	1,102	1,102	1,102	1,102		給食センター
02	継	給食センター運営管理事業	55,357	55,357	55,357	55,357	55,357	55,357		給食センター
03	継	地元食材100%給食事業	201	201	201	201	201	201		給食センター
04	継	公用車管理事業	185	185	185	185	185	185		給食センター
05	継	給食センター調理衛生環境等改善事業	27,658	7,458	31,864	5,064	29,652	52	※ 過疎	給食センター
06	継	給食センター見学及び給食試食事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	給食センター

【心意気15】社会教育の充実

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成27年度事業費	うち一般財源	平成28年度事業費	うち一般財源	平成29年度事業費	うち一般財源
	161,453千円	128,521千円	109,010千円	104,657千円	109,010千円	104,657千円

内容	・「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ、日本人の考え方が変わってきています。 ・長寿社会である我が国では、老後も心豊かに暮らせるために、また、経済一辺倒のライフスタイルを転換するためにも、生涯学習の果たす役割は大きいものがあります。 ・市民の芸術・文化やスポーツ・レクリエーション活動を活発にし、笑顔と汗のあふれる生活を深めていかなければなりません。 ・また、施設の維持・管理は、行政主導から市民主導へ転換し、使う側が自ら維持・管理することを基本に取り組んでいきます。
----	--

目的	■市民が、生涯にわたって学ぶことができ、心豊かに暮らせること
----	--------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
77	公民館利用実績	人	55,480	36,896	↗(43,504)
78	文化センター利用実績	人	22,583	23,576	↗(27,095)
79	図書館の市民一人当たりの貸し出し冊数	冊	4.8	4.3	5.3
80	スポーツ施設利用実績 (スポーツセンター、ふるも、浜中運動公園、見晴公園(野球場・庭球場)、神居岩公園(パークゴルフ場))	人	155,888	77,666	↗(155,888)
81	自ら生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合【基本構想指標】	%	29.9	34.1	65.0
82	社会教育環境の充実に対する満足度	%	18.9	12.3	36.0
83	文化センター利用者満足度	%	52.7	56.0	76.0
84	スポーツセンター利用者満足度	%	52.7	58.0	78.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

(単位：千円)

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
060	社会教育	●市民の生涯学習に対する関心を高め、幅広い学習メニューを実施するには、生涯学習リーダーバンクの活用促進やあかしあ大学の開設など、本市の特色を活かした学習環境の整備が必要です。 ●財政健全化計画により、マイブラン支援事業や体験学習などのメニューが休止となりましたが、指定管理者との連携やゼロ予算で行える事業メニューの工夫により、社会教育事業の充実に努める必要があります。	●生涯学習に積極的にチャレンジできる環境が整い、多くの市民が生涯学習に取り組んでいます。 ●市民が主体的な学習活動を実践できるよう、民間、NPO、大学等との連携が進み、様々な生涯学習の機会が増えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	社会教育統括事業	398	396	398	396	398	396		生涯学習課
02	継	審議会等事業	142	142	142	142	142	142		生涯学習課
03	継	成人式事業	304	304	304	304	304	304		生涯学習課
04	継	少年体験学習事業	80	80	80	80	80	80		生涯学習課
05	継	図書館統括事業	37	37	37	37	37	37		生涯学習課
06	継	図書館運営管理事業	33,242	33,242	33,242	33,242	33,242	33,242		生涯学習課
07	継	自然観察会事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	生涯学習課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
061	芸術・文化	●芸術鑑賞事業は、指定管理者との役割分担を考慮し、市民の多様化する価値観や嗜好を的確にとらえ、さまざまなジャンルから選ぶ必要があります。	●市民や子どもたちの豊かな感性を養い、多様化したニーズに対応した芸術鑑賞の機会が増えています。 ●芸術文化活動の発表機会の創出や各種情報の収集・発信が活発になっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	芸術文化振興助成金	1,000	0	1,000	0	1,000	0	※ 芸術文化振興基金充当	生涯学習課
02	継	子どもたちの芸術文化体験事業	1,179	0	1,185	0	1,185	0	※ 芸術文化振興基金充当	生涯学習課
03	継	文化賞事業	91	91	91	91	91	91		生涯学習課
04	新	シンポジウム助成事業補助金	3,000	0	0	0	0	0		生涯学習課
05	新	留萌市合宿誘致検討委員会事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
062	スポーツ	●休館中の温水プールについては、財政健全化計画終了後の再開に向けた準備や適切な維持管理が課題です。	●子どもから大人まで、市民の誰もが目的にあったスポーツを行い、健康で充実した余暇を過ごしています。

No	新継	事務事業名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	スポーツ振興基金積立金	3	0	3	0	3	0		生涯学習課
02	継	スポーツ振興助成金	1,000	0	1,000	0	1,000	0	※ スポーツ振興基金充当	生涯学習課
03	継	子どもの体力アップ推進事業委託料	1,128	0	1,163	0	1,163	0	※ スポーツ振興基金充当	生涯学習課
04	継	スポーツ合宿可能性研究事業	1,129	629	0	0	0	0		生涯学習課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
063	社会教育施設	●老朽化が進んでいる施設もあるため、適切な管理と維持補修に努めるとともに、市民サービスの向上や学習活動が行える環境づくりに努める必要があります。	●各施設が、市民の利用しやすい生涯学習施設として活用され、市民は充実した余暇生活を送っています。

No	新継	事務事業名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	中央公民館等管理事業	68,294	68,294	68,294	68,294	68,294	68,294		生涯学習課
02	新	中央公民館等トイレ改修工事	13,134	34	0	0	0	0	※ 過疎	生涯学習課
03	継	クロスカントリーコース整備事業	2,071	2,071	2,071	2,071	2,071	2,071		生涯学習課
04	新	スポーツセンター床等補修事業	11,670	70	0	0	0	0	※ 過疎	生涯学習課
05	継	温水プール管理事業	23,551	23,131	0	0	0	0		生涯学習課

【心意気16】 魅力の再発見と創造

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	46,840千円		44,742千円		39,942千円	
			37,844千円		37,844千円	

内容	- 生活・文化、歴史・風土、味・楽しみなど留萌のさまざまな“宝”や“魅力”を大切に育て、情報を発信し、人々が行き交う環境を作っていく必要があります。 - 特に、海水浴を中心とした夏の通過型観光から、通年の滞在型観光へ脱皮するため、さまざまな業種が一体となり、まち全体のホスピタリティ(おもてなしの気持ち)を高めるため、まちをあげて取り組み、留萌の評判を高めていきます。
----	---

目的	■市民が、まちの魅力を共有し、交流を深め、経済・文化が活発なまちにすること
----	---------------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
85	観光客入り込み数【基本構想指標】	千人	256.4	252.0	332.0
86	観光に対する気運が高まっていることに対する満足度	%	12.9	13.5	17.0
87	手軽な観光、レジャー、イベントがあることに対する満足度	%	13.4	19.8	20.0
88	外国人との交流機会に対する満足度	%	4.2	6.3	10.0
89	国際交流事業参加者数	人	154	161	↑(154)

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
064	観光・イベント	●観光振興の実施主体が行政主導から民間主導へと移行されている中、観光振興による地域活性化への機運も高まりつつあるが、従来からの「夏季集中の通過型観光」という形態は大きく改善されていない状況にあります。 ●より地域の魅力ある観光資源をいかに発掘し、磨き上げ、留萌での滞在時間の延長を図っていくかも課題であり、また、観光施設の老朽化も進み、観光客の満足や安全を確保するためにも、適切な維持管理や更新、整備を図り、あわせてバリアフリー化や高齢者にやさしい施設づくりを検討していかなければなりません。 ●「留萌」の知名度もまだまだ低く、夕陽や数の子をはじめ「留萌ならではの」「留萌らしさ」を全国に発信していくことで、地域経済への波及効果、既存産業の再生や新たな観光産業の創出による雇用の拡大などを目指した、より戦略的な観光振興施策の展開が必要です。	●「食」や「健康」「環境」などをテーマに、留萌の多様な地域資源を活用した観光まちづくりが推進され、北海道の新たな観光エリアとして、交流人口が拡大しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	クリーンアップ日本海事業	100	100	100	100	100	100		環境保全課
02	継	観光行政統括事業	1,993	1,993	1,993	1,993	1,993	1,993		経済港湾課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
03	継	観光宣伝物作成負担金	1,203	905	1,203	905	1,203	905		経済港湾課
04	継	観光施設管理事業	34,517	33,717	34,517	33,717	34,517	33,717		経済港湾課
05	新	黄金岬海浜公園補修工事	2,000	2,000	0	0	0	0		経済港湾課
06	継	観光物産PR推進事業	4,451	4,451	0	0	0	0		経済港湾課
07	新	水産加工品消費拡大推進事業	2,068	1,068	2,068	1,068	2,068	1,068		経済港湾課
08	継	客船寄港歓迎事業	447	447	0	0	0	0		経済港湾課
09	継	うまいよるもい市開催支援事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	農林水産課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
065	国際交流	●事業を積極的に展開することで、交流する機会は増えているものの、地域性など市民の外国人に対する意識や交流するための受け入れ態勢などが整備されていないため、交流が一部団体に限られ、市民レベルでの意識や理解の高まりが見られていない状況です。	●民間の国際交流団体が中心となり、様々な分野での交流が行われています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	国際交流事業	51	51	51	51	51	51		政策調整課
02	継	北海道国際交流・協力総合センター負担金	10	10	10	10	10	10		政策調整課

【心意気17】 郷土文化・歴史の伝承

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	1,017千円		1,017千円		1,017千円	

内容	・経済成長とともに、国民生活が豊かになった一方で、日本全体が都市化され、生活が画一化し、わたしたちは、ふるさとの景色や地域への愛着ばかりか、地域の文化や歴史をも失おうとしています。 ・地域の文化・歴史や郷土芸能、文化財などの価値を地域とここに住む市民が認識し、後世に伝え、残すことは、わたしたちの使命と受け止め、努めています。
----	--

目的	■市民が、郷土の文化・歴史に誇りをもち、守り、伝えること
----	------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
90	留萌の歴史や文化を大切にしたいと思う市民の割合【基本構想指標】	%	79.6	65.6	90.0
91	郷土文化・歴史の伝承することに対する満足度	%	16.3	22.6	39.0
92	郷土歴史事業参加者数	人	917	1,422	1,100
93	佐賀家漁場一般開放参加者数	人	207	167	450

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
066	郷土文化・歴史	●展示解説については、市外からの利用ニーズが比較的高いため、職員が「出前解説」で対応していますが、一般観光客に対応するために留萌観光協会との連携による、留萌コンシェルジュの養成が引き続き必要です。	●郷土の歴史や文化について市民が興味を持ち、郷土資料が有効に活用されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	るもい文化遺産の再発見事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	生涯学習課
02	継	出前講座「留萌ふるさと学習」	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	生涯学習課
03	継	海のふるさと館出前解説「入門 るもい学」	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	生涯学習課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
067	文化財	●本市は、国指定文化財として、重要有形民俗文化財「留萌のニシン漁撈用具」を有し、さらに史跡「旧留萌佐賀家漁場」を管理していますが、環境整備と積極的な公開・活用に努める必要があります。 ●H19年には整備計画が策定されましたが、財政健全化計画の推進もあり、当面は施設の整備は望めない状況にあります。 ●文化財保護の観点から、消防設備の設置など防災対策が課題となっています。	●地域固有の文化や歴史を伝える文化財が郷土の宝として適切に保存・管理され、有効に活用されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	佐賀漁場管理事業	1,017	1,017	1,017	1,017	1,017	1,017		生涯学習課

【心意気18】 自然環境の保護と緑の整備

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	217,668千円		127,716千円		130,716千円	
	93,318千円		92,566千円		92,516千円	

内容	・自然は子どもばかりか大人にとっても笑顔で暮らし、心と体を成長させるために欠かせないものです。 ・海、夕陽、山や川など留萌の恵まれた自然環境全体を見渡し、留萌にしかない豊かさ、自慢できる風景など留萌の価値を市民みんなで共有し、守り、地域のアイデンティティ(一体性)を強めていくことはわたしたち一人ひとりの課題です。 ・また公園や緑地、花や街路樹などの整備に、市民と行政が協働で取り組んでいきます。
----	--

目的	■緑に囲まれた環境で、うるおいやゆとりをもって暮らせるまちにすること
----	------------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期(2016年)目標値
94	留萌の自然が素晴らしいと思う市民の割合【基本構想指標】	%	62.6	69.4	80.0
95	公園の緑地、広場があることに対する満足度	%	32.1	19.9	46.0

■各事業の現状と課題と後期(2016年)の目指す姿及び第10期(H28~30)3カ年実施計画(事務事業)

(単位:千円)

分類 No	施策分類	現状と課題	後期(2016年)の目指す姿
068	公園・緑地	●市街地の緑は少なく、7割以上の街区公園が標準規模の面積を満たしていません。 ●公園施設長寿命化点検計画に基づき、公園の用途分けを含め、老朽化遊具の更新整備や既存施設の長寿命化対策について取り組みが必要です。 ●市民の協力や参加を拡大し、地域が使いやすく愛される公園づくりを目指し、協働による維持管理として「環境美化パートナー制度」のさらなる普及が必要です。 ●公園の再編も視野に入れ、緑の基本計画を策定する必要がありますが、計画策定に多額の費用を要するのが課題となっています。	●市民の憩いの場となる公園・緑地が整備され、子どもからお年寄りまでが安心して時間を過ごし、市民の笑い声や笑顔があふれています。 ●市民が進んで公園の維持管理に参加しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	都市計画行政統括事業(都市計画行政)	33	33	33	33	33	33		都市整備課
02	継	公園管理統括事業	137	137	137	137	137	137		都市整備課
03	継	公園管理事業	94,980	91,080	94,980	91,080	94,980	91,080		都市整備課
04	継	船場公園通り整備事業	73,000	50	0	0	0	0	※ 過疎	都市整備課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
05	新	神居岩公園パークゴルフ場東屋整備工事	700	700	0	0	0	0		都市整備課
06	新	公園施設長寿命化事業	34,300	0	31,300	50	34,300	0	※ 過疎	都市整備課
07	新	浜中陸上競技場補修工事	13,252	52	0	0	0	0	※ 過疎	都市整備課
08	継	憩いの森等管理事業	1,266	1,266	1,266	1,266	1,266	1,266		農林水産課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
069	花・街路樹	●街路樹の枯損したものについては、予算の制約もあり補植できずに撤去しているのが現状であり、公園の樹木についても、財政健全化の中での維持管理が課題です。 ●船場公園の花壇は「虹のガーデン」として植栽・整備が進んでいます。	●市民参加により、市街地に新たな緑空間が創設され、きれいで潤いのあるまちづくりが進んでいます。 ●将来に引き継ぐ緑のランドマークの整備が進み、それらを活かしたイベントが開催されています。

【心意気19】港を活かしたまちづくり

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	234,478千円		140,909千円		138,467千円	
	96,601千円		92,532千円		90,090千円	

内容	・留萌の歴史は、海と港とともにあると言っても過言ではありません。 ・まちと関わりを持ち続けた港の歴史を留萌らしさのシンボルとして、あらためて認識したい。 ・わたしたちのふるさと“留萌”と“留萌港”のことであり、楽しみ、活かすために、みんなで留萌を語り、愛し、気概を持って未来に伝えていくことが大切です。 ・また、港は、道北の玄関として、みんなに親しまれ、利活用されるよう努めます。
----	---

目的	■市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること ■道北圏域を含めた物流と地域経済が活発なまちにすること
----	--

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
96	留萌港取扱貨物量	万トン	143.0	145.3	→(113.3)
97	留萌港に魅力や親しみを感ずる市民の割合【基本構想指標】	%	21.6	18.6	60.0
98	港を活かしたまちづくりに対する満足度	%	10.7	16.0	19.0

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
070	留萌港	●港湾内の静穏度向上、老朽化している施設の維持改良・高度化など港湾機能の改善が必要であり、物流機能の充実には貨物量の確保が重要。 ●現港湾計画は計画期間を超えており、実現が困難な計画となっているので、現状に即した港湾計画の見直し作業が必要となっています。 ●留萌港の利活用に向けて、詳細な調査や検討等を行い、今後の港湾計画に位置付けていくことが必要となっています。	●港の老朽化施設の改修が進み、安全で効率的に港が利用されています。 ●交通基盤の整備が進み、陸・海・空のネットワークにより、留萌港の経済圏である留萌・上川・空知地域を中心とした物流が活発になっています。 ●港の持つ魅力や親水性に配慮したイベント等が実施されるなど、市民の港への関心が高まり、親しまれています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	港湾行政統括事業	1,270	1,022	1,270	1,022	1,270	1,022		経済港湾課
02	継	港湾管理事業	18,029	5,581	18,029	5,581	18,029	5,581		経済港湾課
03	継	港湾事業特別会計繰出金	78,232	78,232	78,232	78,232	78,232	78,232		経済港湾課
04	継	直轄港湾整備事業管理者負担金	30,000	0	30,000	0	30,000	0	※ 過疎	経済港湾課

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
05	継	留萌港保安対策事業	5,681	0	5,681	0	5,681	0		経済港湾課
06	継	港湾環境整備事業	1,538	1,538	1,538	1,538	1,538	1,538		経済港湾課
07	新	港湾施設維持管理点検委託料	4,104	4,104	6,059	6,059	3,617	3,617		経済港湾課
08	新	塩見緑地東屋等解体工事	1,402	1,402	0	0	0	0		経済港湾課
09	新	旧北海道合板解体工事	89,500	0	0	0	0	0	※ 過疎	経済港湾課
10	継	留萌港事業継続計画策定事業	4,622	4,622	0	0	0	0		経済港湾課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
071	貿易	●長引く不況の影響などにより、本格的な事業展開には至っていません。	●留萌港背後圏の民間レベルによる貿易など、経済面の交流が活発になってきています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	国際貿易振興事業	100	100	100	100	100	100		経済港湾課

【心意気20】 能率の良い市役所づくり

施策に要する全体経費 (一般会計:3ヵ年ベース)	平成28年度事業費	うち一般財源	平成29年度事業費	うち一般財源	平成30年度事業費	うち一般財源
	4,041,351千円	3,284,773千円	3,845,184千円	3,182,810千円	3,625,831千円	3,020,540千円

内容	- 第5次総合計画は、市民の生活や営みの視点から政策・施策を組み立て、市の予算、職員、時間などの経営資源を効率的に配分し、成果指標に基づく客観的な評価によって、内容を見直し、市民満足度の高い行政を進めるための進行管理のシステムです。 「市民満足度の向上」には、市役所に企業経営の発想を取り入れ、能率よく、良質なサービスを市民に提供するとともに、市民もまちづくりの主人公として、参加と協働により、自らの努力で生活の満足度を高めていくように努める必要があります。 - 市は財政運営、組織運営など「働く市役所」をテーマに、仕事の効率性や組織の能率性を高め、「最少の経費で、最大の効果をあげる」よう行政運営に努めます。
----	---

目的	■仕事の効率や能率が高く、最少の経費で最大の効果を生み出せるまちにすること
----	---------------------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
99	実質赤字比率	%	0.0	0.0	0.0
100	連結実質赤字比率	%	6.71	0.00	0.00
101	実質公債費比率	%	23.2	18.3	19.7
102	将来負担比率	%	201.8	124.0	171.9
103	市民一人当たりの地方債残高(全会計)	万円	193.2	156.7	▽(180.7)
104	市役所の仕事の能率に対する満足度	%	17.4	18.4	100.0
105	健全な財政運営に対する満足度	%	8.4	26.7	50.0
106	職員数(一般会計)	人	254	174	179

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3ヵ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
072	都市経営	●都市経営システムや評価への取り組みや意義については、今後も庁内理解が得られるよう継続して説明していくことが重要であるが、同時に成果指標が目標に対して適切なものかどうか、検討していく必要があります。	●第5次総合計画では、市民と行政が共通の「ものさし」を持ち、互いに進行状況を把握できるとともに、行政評価を中心とした都市経営システムを確立しました。 ●限られた資源(財源・人材)の効果的配分、政策決定、事業選択が行われ、無駄のない効率の良い行政運営が進められています。 ●目標管理制度の導入など、さらなる職員の意識向上が図られています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	企画調整統括事業	875	875	875	875	875	875		政策調整課
02	継	都市経営システム進行管理事業	115	115	115	115	115	115		政策調整課
03	継	行財政改革推進事業	108	108	108	108	108	108		総務課
04	継	第6次総合計画策定事業	3,000	3,000	0	0	0	0		政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
073	地域振興	●人口減少、高齢化、先行き不透明な経済環境など厳しい現状の中、地域振興対策の効果がなかなか見えてきていません。 ●応援寄附（ふるさと納税）は、これまで、多くの方々から寄附が寄せられており、今後は寄附の有効活用に向けた事業の検討と引き続き寄附のPRなどが課題です。	●国や北海道、各種団体などとの連携により、地域経済や市民の暮らしが活性化されています。 ●留萌に愛着、誇りを持ち、自らまちづくりに取り組む試みが芽生えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	全国過疎地域自立促進連盟負担金	116	116	116	116	116	116		政策調整課
02	継	経済活性化懇談会事業	404	204	404	404	404	404		政策調整課
03	継	地域まちづくり事業	324	324	324	324	324	324		政策調整課
04	継	留萌市応援寄附事業	3,838	329	3,838	329	3,838	329		政策調整課
05	継	ふるさと応援交流事業	636	336	636	336	636	336		政策調整課
06	継	地域おこし協力隊事業	27,000	27,000	20,000	20,000	22,000	22,000		政策調整課
07	継	移住・定住・交流促進事業	87	87	87	87	87	87		政策調整課
08	継	都市連携事業	0	0	0	0	0	0	ゼロ予算事業	政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
074	統計調査	●国指定の統計調査を実施していますが、その年度により調査事業の規模にばらつきが大きく、所管の業務量の配分が課題となっています。 ●留萌市統計書は統計調査情報の集積度を高めるように作成していますが、過年度に作成した統計書を基にした追記作業であるため時間を要します。 ●統計調査情報の分類整理等が不完全であるため、必要な情報を探しにくいことが課題です。	●統計データなどを基に、市民のニーズや社会の変化に対応し、市民満足度の高い政策の立案と事務事業の実施が行われています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	統計調査事業	1,991	0	985	0	4,302	0		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
075	広域行政	●合併旧法に基づく市町村合併の協議は破綻しましたが、地方分権の推進に伴う自治体基盤の強化や経費の効率化、行政サービスの維持を目指し、広域連携や合併の可能性について検討、研究しています。広域的な行政連携の手法や取り組みに向けた意識醸成が課題です。	●広域連携を視野に入れ、基礎自治体としての機能強化により、一層の行政サービスの向上が図られています。

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
076	財政	●H21年度から取り組んできた「新・留萌市財政健全化計画」については、全ての健全化判断比率で健全な水準を維持していること、計画の着実な実行による効果と、計画期間中の財政状況が良好だったため基金への積立てができたことなどにより、H27年度をもって無事に終了できる見込みです。今後も、再び財政の危機的状況に後戻りしないように、H28年度から5年間の「留萌市中期財政計画」に基づき、計画内で設定した5つの財政規律を守りつつ、健全かつ持続可能で身の丈に合った財政運営を進めていきます。	●新・財政健全化計画を着実に実行し、全ての健全化判断比率で健全な水準を維持し、健全で柔軟性のある安定的な財政運営が可能な財政構造が確立しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	財政管理事業	1,617	1,617	1,617	1,617	1,617	1,617		財務課
02	継	北海道市町村備荒資金組合積立金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		財務課
03	継	公共施設整備基金積立金	257	0	0	0	0	0		財務課
04	継	財政調整基金積立金	238	0	0	0	0	0		財務課
05	継	新地方公会計制度運用支援委託料	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080		財務課
06	継	公債費	1,860,166	1,729,945	1,714,990	1,584,769	1,649,347	1,519,126		財務課
07	継	公債管理事業	28	28	28	28	28	28		財務課
08	継	減債基金積立金	93	0	0	0	0	0		財務課
09	継	予備費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000		財務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
077	人事	●総合計画スタート時点における一般会計職員数は229人、財政健全化計画においては最終年度であるH27年4月に179人を目指してきましたが、退職者の増加等により計画を下回る職員数で推移してきているため、地方自治体を取り巻く環境や制度改正への変化に対応し、将来に渡り持続可能な組織の実現を図るために、平成26年度からの新たな定員適正化計画(平成30年4月・191人)に取り組んでいるところです。 ●職員数の減少により職員一人当たりの業務量が増加する中で、地方創生への対応等、職員に求められる能力と業績はこれまで以上に高まってきていることから、職員研修やOJTにより、より一層の能力向上を図るとともに、ストレス対策等、職員健康管理を徹底する必要があります。 ●人事評価制度は、マネジメント能力と職員の意欲の向上を引出し、組織の活性化に繋がる実効的な制度とし、「採用」・「育成」・「評価」の連動を図ります。	●職員定数の管理が計画的に進められるとともに、職員一人ひとりの政策形成能力も高まった結果、少数精鋭の効率的な組織体制となっています。 ●職員の能力と業績に応じた効果的な人事評価制度等が導入され、職員の士気も向上しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	職員管理事業	3,817	2,134	3,817	2,134	3,817	2,134		総務課
02	継	職員健康管理事業	2,252	2,252	2,252	2,252	2,252	2,252		総務課
03	継	職員採用事業	2,130	2,130	2,130	2,130	2,130	2,130		総務課
04	新	北海道職員赴任旅費負担金	108	108	0	0	0	0		総務課
05	新	北海道職員人件費負担金	1,300	1,300	1,300	1,300	0	0		総務課
06	継	臨時職員配置事業	20,970	18,248	20,970	18,248	20,970	18,248		総務課
07	継	職員給与費	1,472,279	1,350,958	1,519,990	1,403,779	1,438,263	1,306,452		総務課
08	継	嘱託職員配置事業	103,564	103,564	103,564	103,564	103,564	103,564		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
078	人材育成	●職員数の減少により職員一人当たりの業務量が増加する中で、地方創生への対応等、職員に求められる能力と業績はこれまで以上に高まってきていることから、職員個々の能力向上や意識改革に取り組み、更なる組織力の向上を目指していきます。 ●職場におけるOJTによる人材育成を推進するため、管理監督者の育成に力を入れています。	●求められる職員像、必要とされる能力の修得のため、自ら学び育つ人材育成に取り組んでいます。 ●市民の目線で、市民とともにまちづくりに取り組む、市民からの信頼も厚い職員が育っています。 ●高いコスト意識を持ち、効率的な都市経営感覚を持った職員が育っています。 ●職員のやる気を育てる組織風土・職場環境となっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	職員研修事業	2,634	2,634	2,634	2,634	2,634	2,634		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
079	財産管理	●現在、売却可能な未利用地について公表しているが、土地の形態などから売却が難しい状況となっているため、今後においては、土地賃借人の意向調査等を進めながら賃貸地の売却の可能性を探る必要があります。	●未利用地の計画的な処分など、市の財産が効率的で適正に管理されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	財産管理事業	1,593	1,593	1,593	1,593	1,593	1,593		財務課
02	継	土地開発公社貸付金	494,000	0	407,000	0	331,000	0		財務課
03	継	市有地測量等委託料	700	700	700	700	700	700		財務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
080	契約	●公共投資の減少による建設業、その他の業種に対する影響は非常に厳しく、特に市内業者にとっては死活問題となっています。 ●地元業者に対する受注機会の確保に対する配慮は行っていますが、工事の規模や種類によっては市外業者に依存しなければ適正な履行ができない状況もあります。 ●今後も継続して地元業者に対する受注機会の確保のための情報提供、人材育成や技術向上を促す必要があります。	●質の高い公共事業を確保するため、透明性、公平性、競争性のある入札、契約制度が改善され、地元業者に対しても可能な限り受注機会の確保に配慮されています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	契約事務	332	332	332	332	332	332		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
081	車両管理	●全公用車44台(除雪車等特殊車両を除く)のうち、故障発生リスクが高い15年以上使用している車両が12台、10年以上15年未満が9台あり、計画的な車両の更新が必要です。	●車両の稼働状況を分析し、適正な台数、配置を確保し、効率的な行政運営を支えています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	公用車管理事業	8,699	8,656	8,699	8,656	8,699	8,656		総務課

【心意気21】信頼される市役所づくり

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費		平成29年度事業費		平成30年度事業費	
	うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
	100,754千円		85,628千円		85,628千円	
	94,778千円		84,628千円		84,628千円	

内容	- 市役所は、市民の代表である市長の政策を実施する機関です。当然、市役所は市民から信頼され、市民の意思とともに機能しなければなりません。 - 窓口の対応はもちろん、情報の共有、市民の声の市政への反映、個人情報の保護など、市民と市役所を結ぶ仕事を、信頼を基礎にしっかりと実施します。
----	---

目的	■市民と行政が協働する、市民満足度の高いまちにすること
----	-----------------------------

■基本計画の成果指標と数値

指標 No	指標名	単位	基準値	2015年度取りまとめ数値	後期（2016年）目標値
107	職員の信頼度【基本構想指標】	%	19.0	40.9	100.0
108	広報紙が読みやすくなりやすいことに対する満足度	%	34.1	53.6	86.1
109	市民の声が市政に反映される機会に対する満足度	%	13.7	19.3	30.0
110	市政情報がわかりやすく・タイミングよく提供されていることに対する満足度	%	23.1	19.5	43.5

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

（単位：千円）

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
082	窓口	●窓口職員の接遇は、向上してきていると思われますがワンストップサービスや市民が気軽に相談できる窓口（部署）など、窓口体制の整備が課題です。	●職員の接遇能力が向上し、心の通いあう窓口対応が行われ、市民の満足度が向上しています。

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（2016年）の目指す姿
083	広報広聴	●広報業務では、「広報るもい」の発行をはじめ、インターネットホームページ、地域FM放送、町内回覧、新聞報道など様々な方法を使い市政に関する情報を市民に提供しています。 ●広聴業務では、「市政懇談会」や「市長との対話」などにより、市政に関する市民の要望や意見を受け付け、業務の改善に反映しています。 ●各セクションの広報広聴活動に取り組む姿勢や意識に差があることが庁内の課題です。また、市政情報を提供する手段として、どのような形が市民にとって望ましく、いかにして市民の声を市政に反映させるかが市民に対しての課題です。	●自治に関する情報の共有が進み、市民の参加や協働など市民の自治が進展しています。 ●市政に関する情報が積極的に公開され、市民との情報交換の場が拡大し、市民と市の信頼関係が高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	広報広聴活動事業	10,947	9,947	10,947	9,947	10,947	9,947		政策調整課
02	新	ホームページリニューアル事業	9,000	9,000	5,000	5,000	5,000	5,000		政策調整課

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
084	請願・陳情及び不服申し立て	●不服申し立てに関しては、処分先と申立先が同じため、公平性や中立性に欠けるという指摘があります。	●市民からの請求に適切で迅速な事務処理が行われ、市民の信頼度が高まっています。

分類 No	施策分類	現状と課題	後期（２０１６年）の目指す姿
085	情報化	●情報機器やシステムについては、行政サービスの安定した提供やセキュリティの観点から、計画的に更新していくこととしています。 ●市民の財産である行政情報や個人情報の一部を自庁サーバーで管理しているため、災害に伴う財産の喪失が懸念されることから、自庁にデータサーバーを配置しないクラウド方式への移行を進めています。	●次世代IT技術が有効に活用され、より質の高い効率的な行政サービスや情報の提供が行われています。 ●安定した施設に行政情報や個人情報が適切に管理され、市民の信頼感が高まっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	情報化推進事業	51,360	51,360	51,360	51,360	51,360	51,360		総務課
02	継	情報公開・個人情報保護事業	95	95	95	95	95	95		総務課
03	継	情報設備管理事業	18,226	18,226	18,226	18,226	18,226	18,226		総務課
04	継	社会保障・税番号制度導入事業	11,126	6,150	0	0	0	0		総務課

【心意気22】 その他の事務

施策に要する全体経費 (一般会計:3カ年ベース)	平成28年度事業費	うち一般財源	平成29年度事業費	うち一般財源	平成30年度事業費	うち一般財源
	243,284千円	212,157千円	231,828千円	224,242千円	222,960千円	209,914千円

内容	この項目には、教育委員会、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会などほかの21の施策に分類できない機関や事務をまとめています。
----	---

■各事業の現状と課題と後期（2016年）の目指す姿及び第10期（H28～30）3カ年実施計画（事務事業）

(単位：千円)

分類 No	施策分類	現状と課題
086	教育委員会	●保護者世代の委員や女性の委員を含むなど活性化を図り、外へ出向く活動や、事業の状況を公表するなどの取り組みを進めているが、今後も地域や社会の状況の変化に的確に対応し、市民の信頼に応える教育行政の執行に努めます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	教育委員会運営事業	2,687	2,687	2,687	2,687	2,687	2,687		学校教育課
02	継	教育委員会事務局統括事業	3,796	3,796	3,796	3,796	3,796	3,796		学校教育課

分類 No	施策分類	現状と課題
087	選挙管理委員会	●投票率の低下に歯止めがかからない状況であり、今後も投票率向上に向けて継続した取り組みが必要です。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	選挙管理委員会運営事業	1,592	1,592	1,592	1,592	1,592	1,592		選挙管理委員会
02	継	市長選挙事業	0	0	14,328	14,328	0	0		選挙管理委員会
03	継	知事及び道議会議員選挙事業	0	0	0	0	5,460	0		選挙管理委員会
04	継	参議院議員選挙事業	18,878	0	0	0	0	0		選挙管理委員会
05	継	留萌海区漁業調整委員会委員選挙事業	663	0	0	0	0	0		選挙管理委員会

分類 No	施策分類	現状と課題
088	監査	●市の行財政運営も多様化・複雑化する中、監査委員の役割はますます重要になり、これまで以上に監査委員・事務局職員の専門的知識や能力の向上が必要です。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	監査事務	3,625	3,625	3,625	3,625	3,625	3,625		監査事務局

分類 No	施策分類	現状と課題
089	議会	●地方自治法の改正等、時代に則した提案・助言を行っています。 ●更なる「わかりやすく開かれた市議会」に向けて議員とともに局内一丸となった運営を目指しています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	議会運営事業	117,766	117,766	117,766	117,766	117,766	117,766		議会事務局

分類 No	施策分類	現状と課題
090	会計	●会計事務処理の効率化については、各会計との財務会計システムの統一化が課題です。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	公金管理事業	1,688	1,688	1,688	1,688	1,688	1,688		会計課

分類 No	施策分類	現状と課題
091	平和	●戦争遺族は年々高齢化し、参加者が減少していますが、後世に伝承するため、子どもたちの参画できる事業展開が必要です。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	留萌市平和祈念事業	405	405	405	405	405	405		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題
092	褒章	●褒章制度は、明治14年12月の「褒章条例」(太政官布告第63号)により、紅綬褒章、緑綬褒章、藍綬褒章が制定されたのが始まりです。以降、大正7年に紺綬褒章、昭和30年に黄綬褒章と紫綬褒章が制定されました。 ●我が国の栄典制度は、国家または公共に対する功労、あるいは社会の各分野における優れた行いを表彰する制度として定着しています。

分類 No	施策分類	現状と課題
093	表彰	●留萌市功労者表彰条例と留萌市顕功賞については、そのあり方について検討しています。

分類 No	施策分類	現状と課題
094	恩給	●既に、退職職員ご本人は亡くなられていることから、全てご遺族への支給となっています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	恩給費	1,574	1,574	1,574	1,574	1,574	1,574		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題
095	公平委員会	●事務研修会や研究会への参加を通じて、調査・研究及び情報の収集を行い、不服申し立て等に対し適正・迅速に事務処理ができるよう備えます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	公平委員会運営事業	145	145	145	145	145	145		監査事務局

分類 No	施策分類	現状と課題
096	庁舎管理	●現本庁舎は、建築後50年以上が経過しており、老朽化が一層進んでいますが、明確な将来像が描けていません。 ●管理経費については、施設の老朽化に伴い増加傾向にあります。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	一般管理事業	15,895	15,100	15,895	15,100	15,895	15,100		総務課
02	継	庁舎管理事業	32,159	31,524	32,159	31,524	32,159	31,524		総務課
03	新	庁舎管理事業(庁舎電気設備改修)	2,243	2,243	0	0	0	0		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題
097	秘書	●独自財源が捻出できない現状ではありますが、市民協働を掲げる中、市長が積極的に様々な会合出向くことによるコミュニケーションを深める機会の増加、更には関係機関との情報交換等により、市民活動の活性化等が図られており、旅費、交際費支出以上の効果が出ていると思われます。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	秘書業務	5,445	5,445	5,445	5,445	5,445	5,445		総務課

分類 No	施策分類	現状と課題
098	住基・戸籍	●H25に戸籍システム導入に着手、H26. 3に現在戸籍、H26. 9に除・原戸籍のシステムが稼働し、紙戸籍から電算戸籍に移行され、証明発行の待ち時間が短縮され、市民サービスの向上が図られています。

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	戸籍住民登録事業	3,224	0	3,224	0	3,224	0		市民課
02	継	旅券申請受付・交付事業	103	0	103	0	103	0		市民課
03	継	戸籍事務コンピュータ化事業	18,481	18,481	18,481	18,481	18,481	18,481		市民課
04	継	社会保障・税番号制度運用事業	4,419	1,590	4,419	1,590	4,419	1,590		市民課

分類 No	施策分類	現状と課題
099	その他の事務	-

No	新継	事務事業名	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考	担当課
			事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源		
01	継	国民保護事業	476	476	476	476	476	476		総務課
02	継	法規訴訟管理事業	3,320	3,320	3,320	3,320	3,320	3,320		総務課
03	継	留萌市自衛隊協力会負担金	640	640	640	640	640	640		総務課
04	新	アナログテレビ放送施設撤去工事	4,000	0	0	0	0	0	※ 過疎	総務課
05	継	北方領土返還運動事業	60	60	60	60	60	60		政策調整課